

近畿大学大学院

- 法学研究科
- 経済学研究科
- 薬学研究科
- 商学研究科
- 総合理工学研究科
- 総合文化研究科

東大阪キャンパス
〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1
アクセス方法 ●近鉄大阪線「長瀬」駅下車 徒歩約10分。
近鉄奈良線「八戸ノ里」駅下車 徒歩約20分、JRおおさか東線「長瀬」駅下車 徒歩約20分

■ 農学研究科

奈良キャンパス
〒631-8505 奈良市中町3327-204
TEL.(0742)43-1849 FAX(0742)43-1155
アクセス方法 ●近鉄奈良線「富雄」駅下車 バス約10分

■ 医学研究科

大阪狭山キャンバス
〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2
TEL.(072)366-0221 FAX(072)366-0206
アクセス方法 ●南海高野線「金剛」駅または東北高速鉄道「東ヶ丘」駅下車 バス約15分

■ 生物理工学研究科

和歌山キャンパス
〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷930
TEL.(0736)77-3888 FAX(0736)77-7011
アクセス方法 ●JR阪和線「紀伊」駅下車 近畿大学行バス約20分

■ システム工学研究科

広島キャンパス
〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL.(082)434-7006 FAX(082)434-7011
アクセス方法 ●JR山陽本線「西高屋」駅下車バス約5分

■ 産業理工学研究科

福岡キャンパス
〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6
TEL.(0948)22-5655 FAX(0948)23-0536
アクセス方法 ●JR福北ゆたか線「新飯塚」駅下車 バス約5分

<https://www.kindai.ac.jp/graduate/>

■ 法科大学院 (2019年度から募集停止)

東大阪キャンパス
〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1 TEL.(06)4307-3040
<https://www.kindai.ac.jp/lawschool/>



インタビュー記事の内容およびプロフィールは、取材時のものです。 2020年5月1日発行

近畿大学大学院

Kindai University Graduate School

School Guide 2021

Kindai University
Graduate School
Guide 2021

Graduate School of
Law

Graduate School of
Commerce

Graduate School of
Economics

Graduate School of
Science and Engineering

Graduate School of
Pharmacy

Graduate School of
Interdisciplinary
Human Studies

Graduate School of
Agriculture

Graduate School of
Medical Sciences

Graduate School of
Biology-Oriented
Science and Technology

Graduate School of
Systems Engineering

Graduate School of
Humanity-Oriented
Science and Engineering



最先端の理論や技能を応用し 世の中の文化の発展に貢献できる人材を育成する。

近畿大学大学院では、建学の精神と教育の目的に基づいて、「広い教養に裏打ちされた人格とチャレンジ精神を持って未来を志向しつつ実践的学問すなわち実学の発展に貢献することのできる人材を育成」して、社会に送り出すことに全力で取り組んでいます。

近畿大学学園

建学の精神	「実学教育」と「人格の陶冶」
-------	----------------

教育の目的	人に愛される人 信頼される人 尊敬される人 を育成することにある。
-------	--

「社会と呼応し、貢献できる大学へ」

創設者の情熱が息づく探究の府。

「医学部から文学部まで全学部を揃えたい。全ての日本人が大学教育を受けられる時代を見据えた先駆けモデルとなる大学をめざす」と初代総長のビジョンは、ほぼ完璧に現実になっています。「実学教育」と「人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人を育成すること」を教育の目的にする。世耕弘一が人生をかけて思い描いた理想の教育、それが近畿大学であり、現在もその精神が受け継がれています。



初代総長 世耕 弘一

略譜

(明治26年生～昭和40年没 和歌山県出身)
大正12年、日本大学を卒業後、朝日新聞社に就職。
ドイツ留学を経て、昭和6年に日本大学教授に就任。
翌年、39歳で衆議院議員に初当選(以降、8回当選)。
昭和24年、近畿大学を創設し、初代総長となる。
昭和31年、第二次岸内閣の国務大臣に就任。
昭和38年に藍綬褒章、40年に勲一等瑞宝章を授受。
没後、從三位に叙せられる。



近畿大学大学院は、建学の精神と教育の目的のもと、学士課程を基盤として高度な専門知識と高い倫理性を備えて自立的に新しい価値観の創造と活用を先導できる「実学を具現化できる知のプロフェッショナル」としての人材を育成する目的に、1952年に設置されました。これまで、多数の多様な優れた人材を社会に輩出して、大学院教育の実質化を図ることで、社会の発展に貢献しております。現在、日本そして世界の社会構造は大きな変革期を迎えており、Society5.0や第4次産業革命の技術革新がグローバルにあらゆる産業や社会生活に取り入れるようになると予想されています。このような社会変革において、「知のプロフェッショナル」を養成する大学院教育に求められる社会的役割の重要性がますます高まっております。近畿大学は、社会の要請に応える「実学を具現化できる知のプロフェッショナル」の養成機能を果たすべく、大学院教育改革に向けた具体的取組を不斷に実施していきます。そして、学生は、本大学院において、社会構造が多様化する時代に対応するための深い教養と高い専門知識を身につけ、世界的にグローバルな視点で活用できる能力を涵養することで、社会を牽引し社会に夢を与える知の創造と活用を先導できる人材に成長して頂きたいと思います。



近畿大学 学長
細井 美彦

大学院生サミット

近畿大学大学院では、全11研究科の大学院生が各専門分野を超えて横断的に異分野融合の研究交流をすることを目的に、2009(平成21)年から院生サミットを毎年度開催しております。各研究科の大学院生ならびに教員が一堂に会する当該サミットでは、院生は多様な思考に触れて享受することで、意欲的に異分野の知識・技術を取り入れることが可能となりました。

このような取組みから、学生は社会的動機に裏打ちされた各専門分野の学修を踏まえて、クリティカルシンキング能力の涵養が図られております。今後、近畿大学大学院は、院生サミットを更に展開させることで、学際領域を含め未開拓な領域に独創的な発想で挑戦していく「実学を具現化できる知のプロフェッショナル」の人材を社会に輩出していくことを目指します。

大学院部長 松本 和也 教授

第8回院生サミット報告

テーマ:多様な社会・文化をめざして
—KINDAIのSDGsへの取り組み—

総合文化研究科長 鈴木 拓也 教授

2018年9月16日(日)、総合文化研究科を幹事研究科として、近畿大学大学院の文系研究科と理系研究科が一堂に会し日頃の研究成果を発表・交流する【サイエンスネットワーク2018・第8回院生サミット】が開催されました。テーマは『多様な社会・文化をめざして—KINDAIのSDGsへの取り組みー』。基礎研究と実学研究の融合を目指して、オール近大のサイエンスネットワークを形成する大学院生・学部生・教職員等が交流するなかで、全国のキャンパスに在籍している近畿大学大学院の院生を中心に日頃の研究成果を発表・意見交換を行い、日本の将来を担う高い志を持った若手研究者・技術者を育成することを目標としています。第8回目となる院生サミットでは大学院生はじめ学部生、教職員、大学院OBの265人が集い、オール近大の力で学術振興・社会貢献の推進に寄与すべく、研究発表や意見交換などを行いました。プログラムでは(1)高宮いづみ副学長による講演「エジプト考古学をして新しい世界を知る」、(2)三つの分科会場での15演題の口頭報告、(3)54演題のショートプレゼンテーション、(4)121演題のポスター報告が行われ、さらに発表後の情報交換会でも親睦と活発な意見交換が行われました。近畿大学のSDGsへの取り組みについて意識を高める機会になりました。



第9回院生サミット報告

テーマ:KINDAIの総合力を活かす
一分野横断的思考によるイノベーション—

薬学研究科長 川畠 篤史 教授

2019年10月5日(土)、近畿大学東大阪キャンパスにおいて開催した「第9回院生サミット」は、640名(大学院生225名、学部学生268名、教職員等147名)が参加する盛会となりました。今回は、総合大学である近畿大学のメリットを最大限に生かすため、各研究科間の横の交流を重視し、専門外の研究を知ることで自身の研究に新しい考え方を取り入れてイノベーションに繋げることの大切さを学ぶためのプログラム構成としました。脳科学研究で著名な東京大学大学院薬学研究科教授の池谷裕二先生にお願いした特別講演「脳の世界」は、文系理系の大学院生、学部学生、教職員に好評で、脳を理解し活かすためのヒントをたくさんいただきました。複数の研究科の大学院生が、オーガナイザー(座長)、スピーカー、コメンテーターを務める7つの分野横断院生シンポジウムでは、大学院生主導の活発な発表・質疑応答が行われ、異なる研究科間の交流を活性化することができました。また、ポスター発表には159演題がエントリーされ、専門外の教員の審査によって17演題の発表者が優秀発表賞が授与されました。今回の院生サミットによって、各大学院生が異分野交流を通して視野を広げるこの重要性を認識し、今後の研究の発展に役立てていくことを願っています。





近畿大学大学院の教育・研究・社会貢献を通じた持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献

2015年9月末に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、国連加盟国が持続可能な社会の実現に向けて2016から2030年の15年間の人間、地球及び繁栄のための行動計画(2030アジェンダ)として達成すべき17のSDGs(Sustainable Development Goals;持続可能な開発目標)が採択されました。この持続可能な開発の定義は、将来の世代がそのニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズを充足する開発であり、その達成のためには、3つの主要素(経済成長・社会的包摶・環境保護)を調和させすることが必要であるとされています。現在、各国の政府関係機関・地方公共団体・企業・大学・市民団体などで、各目標の達成に向けた取組みが検討され、実施されています。

近畿大学大学院は、建学の精神「実学教育と人格の陶冶」のもとで、高度な専門的知識と倫理観を規範に主体的に考えて行動し、新たな知とそれに基づく価値を創造できる「社会の要請に応える実学を具現化できる知識のプロフェショナル」の養成機能と研究・社会貢献の責務を果たしています。近畿大学大学院は、これらの社会的責務の遂行との関わりにおいて、SDGsの達成に向けた積極的な取組みを実施しています。以下に、本大学11研究科において、SDGs達成に向けた実施している取組みを紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



各研究科におけるSDGs達成に向けた取組み

法学研究科

法政策研究を通じて公正かつ平等で幸福を追求できる平和な社会の実現に寄与します

法学にはあらゆる社会システム構築のために必要な不可欠な技術的学問がありますが、特に、労働安全衛生に配慮した労働政策、環境意思決定への市民参加、環境に責任をもつ街づくり、ジェンダー平等等の実現等の研究に注力しています。



商学研究科

豊富な教員スタッフが各々の研究教育を通じてSDGsのゴールをめざします

商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの分野にまたがる50人を超える教員スタッフが、各々の研究教育分野に関連するSDGsの目標別にそのゴールをめざして取り組んでいます。



経済学研究科

限りある資源の最適配分に取り組む経済学。SDGsに経済学研究科として寄与できること

生物資源の持続的な利用や大気汚染の問題に取り組む環境経済学、経済・教育格差や貧困の問題に取り組む経済成長論や開発経済学、住み良い街づくりに貢献できる都市経済学などの専門家がいる強みを活かせます。



総合理工学研究科

先進的な研究や技術開発を通して大胆な発想力とグローバルな視点をもつ研究者・技術者や教育者を育成

国内外での最先端分野の研究や技術開発に挑み続けており、活発な実行力、大胆な発想力、グローバルな視点を身につけ、高い倫理観とともに日本の掲げた「SDGsモデル」に貢献し、持続可能な世界の実現をめざします。



薬学研究科

人の健康保持・改善に関する幅広い分野のSDGs達成に貢献します

薬学研究科では、病気の原因解明、医薬品の開発と適正使用、機能性食品の開発、環境衛生と資源再利用など人の健康保持・改善に関連する分野に関する教育研究に取組み、これらに関係するSDGsの推進に貢献できる人材を養成しています。



総合文化研究科

分野横断型研究と知的創造によりSDGsの実装を支援します

言語、文学、芸術、文化、歴史、社会、心理など、人間の営みに関する分野横断的研究により、SDGs達成のための知のパラダイムを創出します。また知識、データ、解決策の提案などで現在および将来にSDGsを実行する人材の養成をめざします。



農学研究科

農学研究により、食料・環境・生命・健康・エネルギーの分野の発展に貢献

農林水産業に関連した食料生産技術開発、ユーグレナによるジェット燃料生産、農業・アグリビジネスの活性化、陸域・水域の環境保全、健康を支える栄養教育など、SDGsに直結したさまざまな研究を推進しています。



医学研究科

最先端の医学研究と教育を通じて、全ての人が平等に健康な世界の実現を

医学研究科では、世界をリードする医学研究者の育成と探究心に溢れた臨床医の養成を通じて、全ての人々が平等に病気の苦しみから開放され、疾病による差別や不利益のない世界の実現をめざします。



生物理工学研究科

微生物反応を用いた循環型社会への貢献

美しい地球環境は微生物の働きによって形成されます。この働きを用い、農作物がよく育ち、病気が出にくい発病抑止土壤を作成する研究と廃水や廃棄物を浄化処理しながら発電する微生物燃料電池の研究を進めています。



システム工学研究科

持続可能な社会を構築するための技術開発と新産業を創出するイノベーション人材の育成

クリーン技術や環境に配慮した技術開発のみならず、その導入プロセスの効率化、導入後のインパクト評価などを通じて、持続可能な社会の構築に貢献します。くわえて、グローバルな新産業を創出できる人材育成のため、デザイン思考教育を実践します。



産業理工学研究科

地球環境に調和する未来技術に向か「ハードサイエンスとソフトサイエンスの融合」がキーワード

多様なエネルギー・アクセスを可能にする高性能電池、強靭なインフラ構築をめざした次世代光ファイバー通信、心理的な行動への影響を考慮した持続可能な都市計画、森林の持つ公益的機能・多面的価値の研究などに取組んでいます。



大学院研究科のアドミッションポリシー

(入学者受け入れの方針)

本学は、未来志向の「実学教育」と「人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育理念として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育理念」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。本学が、総合大学として各学部の特色を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実に立脚しつつも、歴史的展

望を持ち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志を持つことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これから時代に、本学が目指す社会的使命であります。近畿大学大学院のアドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)は、上述の教育方針に基づいており、本学の「建学の精神」と「教育理念」に共感する入学者を国内外から広く受け入れます。

法学研究科 | 法律学専攻

博士前期課程／博士後期課程

11

法学研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶を踏まえて、法学及び政治学の分野において、その根底に横たわる重要問題や最先端の内容を教授・研究し、学生に修士(法学)や博士(法学)にふさわしい幅広い基盤的な専門知識・考え方を修得させるとともに、専攻する各研究分野における応用力を身につけさせ、国際社会、国家または地域社会の発展に向けて、実際に指導的な役割を果たし得る多種多様な専門家を養成することにあります。したがって、具体的には以下のような人の入学を希望します。

博士前期課程

- 現代社会における諸問題を解決するため、法学・政治学の観点からさらに研究を深めようとする人。
- 法学・政治学に関連する資格を取得し、それを通じて有意義な社会活動に取り組もうとする人。
- 法学・政治学についてさらに研究を深め、社会人としての活動にその研究において培った能力を生かそうとする人。

本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、学内推薦入学選考(7月)、学内入学選考(9月、2月)、一般入学選考(9月、2月)および社会人入学選考(9月、2月)を実施し、入学者各自の適性および経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・面接等を行なう総合的に判断しています。

博士後期課程

- 法学・政治学の各専攻分野において自立した研究者として独創的な研究を行おうとする人。
- 国内・国外の多様な方面で、法学・政治学に関する高度な専門性が求められる分野で活躍しようと意欲する人。
- 法学・政治学の専門性を踏まえ、高度に複雑な現代社会における問題を発見し、その解決案を提示して、その成果を社会人としての活動に生かそうとする人。

本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、一般入学選考(2月)および社会人入学選考(2月)を実施し、入学者各自の専門的学識・修士論文等に加えて適性および経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・面接等を行なう総合的に判断しています。

商学研究科 | 商学専攻

博士前期課程／博士後期課程

11

商学研究科は、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの分野のうち、いずれかの分野に軸足を置いて高度な専門知識を修得し、実務界・学界等で活躍貢献できる人材を育成することを目的としています。以下のように、本研究科の前期課程では、それらの6つの分野に関心を持ち、高度な専門知識の修得に意欲を持つ人を積極的に受け入れています。また、本研究科の後期課程では、専攻しようとする分野について、将来、研究者になることを目指し、より高度な専門知識と豊かな学識の修得に意欲を持つ人を受け入れています。

博士前期課程

- 本研究科の6つの分野のうち、専攻しようとする分野に強い興味・関心と基礎知識を持つ人。
- 高度な専門知識の修得に意欲を持つ人。
- 高度な専門知識を有するスペシャリストとして実務界で活躍することを希望する人。

入学選考においては、志願者の様々な能力について、学力試験(専攻する分野の専門知識、外国文献の読解力等)、小論文、面接などにより総合的に評価します。

博士後期課程

- 専攻しようとする分野に強い興味・関心と高度な専門知識を持つ人。
- 高度な研究能力の修得に意欲を持つ人。
- 外国語に関する読解力等の十分な語学力を有する人。

経済学研究科 | 経済学専攻

博士前期課程／博士後期課程

13

経済学研究科の教育目的は、「建学の精神」である「実学教育」を重視しつつも、経済学の各分野における高度な専門知識の修得と研究遂行能力を育成することで、現実の経済・社会が直面する様々な問題に対して積極的に関与できる人材を養成することにあります。また、実社会において活躍している社会人に対しては、経済学の高度な知識の修得を通して、より幅広い見識を有する人材を育成することにあります。したがいまして、以下のよ

うな人の入学を希望し受け入れることにします。

博士前期課程

- 経済学の知識を活用して、現実の経済・社会が直面する諸問題を具体的に解決したいという強い意欲を持つ人。おもに「学内入学選考」と「一般入学選考」で選抜され、入学試験問題は、経済学の基礎的分野と専門的分野の双方から出題されます。外国语と面接試問も合わせて行います。
- 高度な専門能力の修得に意欲を持つ人。おもに「学内推薦入学選考」によるもので、本学部の成績と推薦書および面接試問によって選抜を行います。
- 社会人としての自らの経験を踏まえて、経済学を学びより幅広い見識を持ちたいという意欲を持つ人。おもに「社会人入学選考」によるもので、社会人として実績のある受験生を対象にしています。志望する研究題目と研究計画書を出願時に提出し、これに関する論述試験と面接試問を行います。「夜間主コース」も設けて働きながら大学院を修了できるように配慮しています。

博士後期課程

- 経済学の各分野において、自立した研究者として独創的な研究を行う意欲を持つ人。
- 高度な専門知識を要求される職業人を目指す人。専門科目と外国语の筆記試験と面接試問を行います。

総合理工学研究科

理学専攻／物質系工学専攻／メカニクス系工学専攻／
エレクトロニクス系工学専攻／
環境系工学専攻／東大阪モノづくり専攻

博士前期課程
博士後期課程

建築デザイン専攻
修士課程

15

総合理工学研究科は、近畿大学の建学の理念である「実学教育」に基づき、理学、工学の先端的基礎研究から産業、生命、環境、建築分野、モノづくりへの応用研究まで幅広い研究活動を行っています。これらの分野における優れた研究成果に基づく先進的教育により科学・技術の発展を支え、社会に貢献できる科学者、技術者、研究者、及び未来の人材を育てる高等教育者を育成することを目指しています。本研究科が受け入れを望むのは以下のようないます。

博士前期課程

- 博士前期課程・修士課程では学士としての基礎学力と研究への意欲を有する人。
- 自ら問題を発見し、解決しようとする意欲のある人。
- 研究で得られた知見を人類社会の未来に役立てたいと願う人。
- 研究者倫理、技術者倫理を順守できる人。

博士後期課程

- 博士後期課程では修士としての基礎学力及び研究力を有する人。
- 知的好奇心を強く持ち、これまで培った知識、研究力を駆使して自ら計画を立案し、遂行する能力を有する人。
- さまざまな事象を根源的に理解することにより、これらの分野において新たな知見を創出したいと願う人。
- 研究者倫理、技術者倫理を順守できる人。

本研究科の入学選考では上記の人材を多元的な評価尺度で選抜するために、複数の入学試験を適切な時期に行なうとともに、受験生が各自の適性に応じて適切な入学選考を選択できる用意も充分に行っています。具体的には、学内推薦入学選考(7月)、学内入学選考(9月)、一般入学選考(9月、2月)、社会人入学選考(9月、2月)、留学生入学試験(10月、2月)などを実施しています。

薬学研究科 | 薬学専攻

博士課程

薬科学専攻

博士前期課程／博士後期課程

17

薬学研究科では、薬学に関する独創的な研究を行い、卓越した洞察力と問題解決能力によって将来多様な薬学領域において指導的立場で活躍できる人材を育成し、社会に輩出することにより人類の福祉と健康に貢献することを理念としています。そのため、創薬科学、生命薬学及び医療薬学の分野で、多岐に亘る高度な専門的能力を有する研究者又は専門薬剤師を育成するために、次のような入学者を受け入れます。

- 高い倫理観を持ち、人々の健康と福祉に貢献する意欲のある人。
- 薬学及び生命科学に関する確かな基礎学力を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
- 薬学及び生命科学における幅広い知識と深い専門性を有し、論理的かつ柔軟な思考力と、豊かな創造性を備えた人。
- 生涯に亘って研究意欲と向上心を持ち続け、研鑽を積む意欲のある人。
- 高度な研究能力を取得して、将来グローバルに活躍する意欲のある人。

入学選考においては、志願者の様々な能力や倫理観について、学力試験、小論文、面接、プレゼンテーションなどにより総合的に評価します。

総合文化研究科

日本文学専攻／英語英米文学専攻／文化・社会学専攻／心理学専攻

修士課程

19

総合文化研究科では、絶えず変動を続ける現代社会において、自ら新しい知的価値を創出することのできる人材を育成するため、以下のようないます。

- 言語、文学、文化、歴史、社会、心理などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
- 専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力を身につける意志を強く持ち、そのため必要な基礎学力を有する人。
- 分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもってクリエイティブな文化発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。

以上のようなアドミッションポリシーにしたがって、入学試験は以下の方法により行います。

1. 一般入学選考および学内入学選考では、各専攻・コースにおける研究に必要な専門知識や思考能力を検査する論述試験、国際的な視野に立った学習・発信のための基礎的な語学力を試す外国语試験、研究に対する意欲や適性などを判定する面接試験により、入学者を選抜します。ただし、学内入学選考では指導教員等の推薦と学部における成績の評価をもって外国语試験に代えるものとします。
2. 学内推薦入学では、指導教員等の推薦により各専門分野における知識や能力、また外国语を含めた幅広い基礎学力が認められることを前提に、研究に対する意欲や適性、問題意識や探究心などを面接試験により判定します。
3. 社会人については、実社会における経験や業績を加味した上で、論述試験と面接試験によって専門知識や研究能力を判定する「社会人入学選考」を実施します。
4. 留学生については、学習や研究に必要な日本語能力を前提とした上で、専門知識や研究能力、意欲や適性を判定する「外国人留学生入学試験」を実施します。

農学研究科 | 農業生産科学専攻／水産学専攻／応用生命化学専攻／
環境管理学専攻／バイオサイエンス専攻

博士前期課程／博士後期課程

» 21

農学研究科では、本学の建学精神である実学教育と人間性の陶冶をふまえ、農学に関わる自然科学から社会科学までの幅広い知識と技術を修得し、研究科で育まれた高度な能力を実社会が抱える様々な問題の解決に実践、応用できる人材の育成を目指しています。

具体的には、国内外から以下の入学者を広く受け入れます。

- 農業、生命、環境、食料、健康など、農学研究科が展開する教育・研究分野を理解し、修得するのに必要な基礎学力を有する人。
- 農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
- 農学の社会的使命を理解し、社会に貢献するための幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
- 本研究科で得られた教育・研究成果を国際的に発信するため、コミュニケーション能力を高めることに強い意欲を有する人。

医学研究科 | 医学系専攻

博士課程

» 23

医学研究科は、確かな学識に裏付けされた研究活動を自立して行うだけでなく、自らの医療実践の中に課題を求め、その解決によって医療をさらに発展させる高度医療人の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めます。

- 医学医療分野の基本的な学識を有する人。
- 新鮮で独創的な着想を持つ人。
- 自ら課題を設定し、積極的に研究に取り組む意欲のある人。
- 最先端の知識と技術を常に探求する人。
- 自らの医療実践の中に課題を求め、それを自ら解決したいと考える人。
- 研究によって、高度医療だけでなく、日常的な医療も発展させたいと考える人。
- 國際的な視野に立つ卓越した研究者を目指す人。

生物理工学研究科 | 生物工学専攻／生体システム工学専攻

博士前期課程／博士後期課程

» 25

生物理工学研究科の教育目標は、広い視野に立って精深な学識を授け、生命科学と理工学の学際分野における高い研究能力と専門的な職業を担うための卓越した能力を養うことにあります。特に、次世代の産業技術を創出し、人類の持続的な発展と豊かな社会の形成に貢献する、国際的視野と豊かな創造性を備えた人材の育成を目指しています。本研究科では、以下にあげるような人物像を備えた人を国内外から広く受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績(学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績)に加えて面接試問を課すことによって、学士課程(博士前期課程志願者)あるいは修士課程(博士後期課程志願者)における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。なお、外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験(日本語)の成績」の結果も加味します。

本研究科が大学院において受け入れを望むのは以下のような人です。

- 学士課程(博士前期課程志願者)または修士課程(博士後期課程志願者)に相当する生命科学と理工学に関する基礎能力を修得した人。
- 専門分野ならびに分野横断的な幅広い知識を修得するための基礎的な語学力と高いコミュニケーション力を有する人。
- 専門分野の新しい知識・技術を積極的に吸収し、論理的な思考に基づき独創的な研究課題を探り、それを解決するための研究意欲がある人。
- 学問の探求を通して、高い倫理観と豊かな人間性を備える意志がある人。
- 國際的な視野に立ち、豊かな学識をもつ研究者・技術者として社会貢献を目指す人。
- 研究を通じて得られた成果を社会に還元し、社会貢献に対する意欲が高い人。

システム工学研究科では、人間と自然が共存できる持続可能な社会を構築することを目的として、次のような能力や学識を持つ、技術者や研究者など高度専門職業人の育成を最終目標としています。

1. 広い視野に立って総合的に思考する力(総合力)。
2. 技術者・研究者として必要な高い人格と倫理観(人間性)。
3. 専門領域における深い知識(高度専門性)。
4. ますます複雑化する技術課題に多様な解決策を提言する力(課題解決力)。
5. 高い専門知識を駆使して国内外で活躍する力(グローバル活動力)。

このために次のような入学者を受け入れます。

- 幅広い教養と実学としての工学分野の能力を発展・深化させたいと望む意欲のある人。
- 人間と自然が共存できる社会の構築に寄与することを熱望して、高度の技術者・研究者を目指す人。
- 複雑化する工学的課題に果敢にチャレンジし、探求能力を高めて、グローバルにしかもリーダーとして活躍したい人。

(入学者選抜の基本方針) システム工学研究科では上記に示す方針に基づき、多様な入試制度を設けています。

- 博士前期課程**
- 学内推薦入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の面接試験を実施します。
 - 一般入学選考では、学士課程における専門知識を十分身につけ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び面接試験を実施します。
 - 社会人入学選考では、在職経験によって培った知識及び技術をさらに深化させ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる総合的な応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の面接試験を実施します。
 - 外国人留学生入試では、学士課程修了者と同等な専門知識を有し、当研究科で必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。日本留学試験の活用と外国语、専門科目の記述試験、面接及び書類審査を実施します。

- 博士後期課程**
- 一般入学選考では、博士前期課程における専門知識と研究能力を十分身につけ、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び面接試験を実施します。
 - 社会人入学選考では、在職経験を有する者で、博士前期課程における最低限の専門知識と研究能力を十分身につけており、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の面接試験を実施します。
 - 外国人留学生入試では、博士前期課程修了者と同等な専門知識と研究能力を有し、当研究科で必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。日本留学試験の活用と外国语の記述試験、面接及び書類審査を実施します。

博士前期課程では、学部における一般教養並びに専門基礎知識の上に、専門知識や技術を幅広く修得して基本的な研究能力と問題解決能力を養うとともに、関連する分野の基礎的素養を修得して、循環型知識基盤社会を多様に支えて変化に柔軟に対応できる技術者を育成することを教育理念としています。このため、次のような入学者を受け入れます。

- 博士前期課程**
- 研究科の教育理念に共感し、これを遂行するための基礎学力とコミュニケーション能力を有する人。
 - 専門及び関連分野の知識や技術を修得し、専門家として自立する意欲のある人。
 - 自ら学ぶ意欲をもち、多角的な視点から新たな知見や技術を創出する情熱のある人。

博士後期課程は、博士前期課程で修得した専門知識や問題解決能力をもとに、主体的に研究活動を展開する中、高度な専門知識と豊かな学識に裏付けされた新たな知見や技術を創出して、循環型知識基盤社会の発展に貢献できる研究者や技術者を育成することを教育理念としています。このため、次のような入学者を受け入れます。

- 博士後期課程**
- 研究科の教育理念に共感し、これを遂行するための専門性と研究能力を有する人。
 - 専門及び関連分野の知識や技術を幅広く深化して、専門領域を極める意欲のある人。
 - 自ら行動し、失敗を恐れずチャレンジして、既成概念にとらわれることなく多角的な視点から新しい価値を創り出す意欲のある人。

法学研究科

- 博士前期課程
- 博士後期課程



高度な法知識を備えた 創造性豊かな人材を育成します。

法学研究科では、憲法・民法・商法・刑法・訴訟法などの主要な実定法学科目はもとより、法制史・英米法などの基礎法学科目、政治学・行政学などの政治学関係科目に至るまで、幅広い多様な専修科目が開講されています。

法学・政治学の分野において、指導的な役割を
果たし得る専門家を養成する専攻

法律学専攻

[博士前期] [博士後期]

法学研究科の特長

深遠な学識を身に付ける博士前期課程と高度な専門職に必要な研究能力を養う博士後期課程

博士前期課程は、法学や政治学などについての高度な専門知識を身に付けることを目標とし、学問的なレベルの高い専修科目、専修科目と関係する隣接科目、国際化に対応した外国語科目などを配置しています。博士後期課程は、より高度な専門知識を有する自立した研究者、さらには将来の法学教育を担う人材を養成することを目標としています。

高度な専門性が多様な未来へと導く。

理論と実務の架橋の試み

本研究科の博士前期課程を修了した学生の中には、税理士、司法書士、その他国家試験による資格の取得を目的とする学生が多数います。すでにその目的を達成して、現在実務で活躍している修了生も少なくありません。博士後期課程へ進んで研究者としての道を歩み、大学教員などの職に就き、業績をあげている修了生もいます。



法学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

Graduate School
of Law

研究科長メッセージ

自由な対話のある環境で、高度な専門性と豊かな人間性を身に付けてください。

本学は「実学教育」と「人格の陶冶」を建学の精神としています。法学研究科には現在、税理士や司法書士等の専門職に就こうとする人、公務員や教員になろうとする人、大学における研究者を志す人など、様々な目標を持った人が在籍しています。法学・政治学の幅広い知識を学び研究

することによって、問題発見・解決の能力やイノベーションに取り組む力を涵養し、未来を見据え、社会変革をリードしてもらいたいと思います。師と友との自由な対話を通じて、学ぶこと考え続けることの楽しさを味わってください。

研究科長 林 真貴子 教授

○ 授与する学位

博士前期課程／修士(法学) 博士後期課程／博士(法学)

○ 進路イメージ

論理的思考を生かして多方面で活躍できます。

博士前期課程修了者の進路は、基本的に2方向に分かれます。一つは、法学研究科の後期課程、商学・経済学などの隣接研究科の前期課程、法科大学院などへの進学。もう一つは、前期課程の研究成果を生かし、税理士、教育機関(学校、専門学校など)、公務員、民間企業などへの就職です。

○ 研究分野例

憲法 行政法 民法 商法 民事訴訟法 刑法 刑事訴訟法 日本法制史 西洋法制史
租税法 社会保障法 勞働法 國際私法 英米法 政治学 行政学 公共政策

在学生からのメッセージ

変化する時代に即した
法令解釈を研究し、
税理士として
社会に貢献したい。

法律学専攻
博士前期課程1年
田口 愛さん



地方自治体職員として
情報公開における
透明性の確保に
尽力したい。

法律学専攻
博士後期課程1年
尾崎 洋之さん



土地の売却や購入後、所有権移転前に相続が開始された場合の相続財産とその評価について研究しています。興味深いのは、相続財産の評価は時代の変化が大きく関わっていること。本質を理解するには、当時の社会的背景や対応状況を学びながら判例を読み解くことが求められます。空き家対策が懸案となり対応が活発化し始めた現在、「空き家対策特別措置法」施行当時は大きく変化した社会の状況をふまえて、その解釈を見直すことで社会に貢献できると考えています。将来は税理士として研究を実務に役立てることが目標です。

法学研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/law/about/graduate/>

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

商学研究科

- 博士前期課程
- 博士後期課程



現実に起る諸問題を 解決へと導く判断力を育成します。

本研究科では、国際化・情報化社会に対応するため、理論研究に加えて実践的な応用力を養うとともに配慮して、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの各関係内および各関係間の有機的結合に重点を置いたカリキュラムが編成されています。

現実を分析する鋭い洞察力を獲得し解決方策を
探求・評価・選択できる判断力を育成します



商学研究科の特長

商学関係の特色

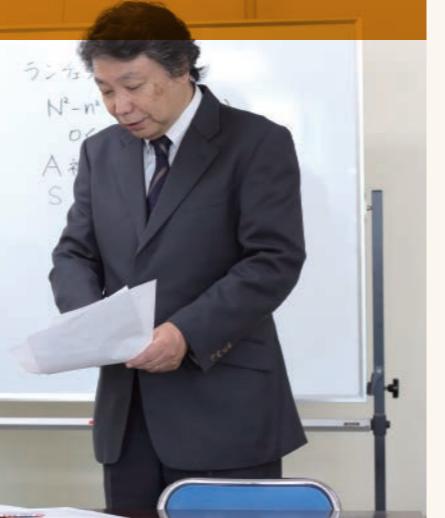
商学関係では、現代のビジネス社会や企業に生起する現象を、さまざまな角度から総合的に研究しています。商学の研究分野には、企業の市場行動である「マーケティング戦略」と企業環境の「商学関連」があります。商学関係では、「市場的環境変化への企業の創造的かつ統合的行動」である「マーケティング研究」を中心に、「商学関連分野」の研究も積極的に進めています。開講科目のうち、マーケティング戦略に関わる科目として、マーケティング特論、観光マーケティング特論、国際マーケティング特論など、商学関連科目として、流通システム特論、貿易特論、保険特論などを挙げることができます。

会計学関係の特色

会計に関する研究領域は、財務会計論、管理会計論、監査論などに大きく分けることができます。会計学は、企業の内部・外部にいる情報利用者に提供される会計情報の認識、測定、伝達について研究することを目的とします。会計をとりまく社会環境は国際化・多様化し、会計基準、監査基準も国際化、IT化に対応したものが求められています。この先端的な会計研究について理論から実践までを修得できるよう配慮しています。そこで、財務会計特論、簿記特論、会計監査特論、企業分析特論などの科目が置かれています。

キャリア・マネジメント学関係の特色

経営学分野の一つとして位置づけられるキャリア・マネジメント学関係は、経営資源の「ヒト」に特化し、人材の有効活用を図るにはどのようにすればよいかを研究します。それとともに、従来は「組織」の視点が強調されてきましたが、組織を構成する人材、個人の視点も加えて、人材マネジメント論、キャリア論の新たな領域の開発に努めます。深い人間理解に基づく新しい時代のビジネス研究といえるでしょう。開講科目のうち、キャリア開発特論、雇用政策特論、組織行動管理特論、ベンチャービジネス特論などを中心として、組織目標の達成、個人のキャリア形成の融合を図る理論・実証的研究を進めています。



商学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

研究科長メッセージ

ビジネス社会の諸問題を実学に精通した豊富な教員スタッフのもと挑む。
商学研究科は、本学大学院の中で、最も歴史のある研究科です。また、50名を超える教員スタッフにより、実務界・学界などで活躍・貢献できる人材の育成のために、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの分野を対象に、より深く学び、より深く研究したいという大学院生のニーズに応えながら、高度な専門知識・高度な研究能力の修得をサポートしています。高い意識と高い意欲を持った皆さん、商学研究科に進学し、深い学びや深い研究の楽しさに触れ、優れた研究成果を挙げることを願っています。

研究科長 古殿 幸雄 教授

Graduate School
of Commerce

現実に起る諸問題を 解決へと導く判断力を育成します。

本研究科では、国際化・情報化社会に対応するため、理論研究に加えて実践的な応用力を養うことにも配慮して、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの各関係内および各関係間の有機的結合に重点を置いたカリキュラムが編成されています。

現実を分析する鋭い洞察力を獲得し解決方策を
探求・評価・選択できる判断力を育成します



◎ 商学研究科の教育理念

実学重視という観点から、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの各系列内および各関係間の有機的結合に重点を置いたカリキュラムを編成して、所属する大学院生が、企業経営の戦略面や技術面において、商学研究科で得られる高度な専門知識を実際に活用することをめざしています。商学研究科で修得した高度な専門知識が企業経営の現場で実際に活用できるという強い信念と自信を持たせる教育を行っています。

◎ 研究テーマ例

商学関係	経営学関係	会計学関係	ITビジネス関係	キャリア・マネジメント学関係	スポーツマネジメント関係
◎マーケティング ◎貿易実務 ◎流通システム	◎経営管理 ◎人的資源管理 ◎財務管理	◎簿記 ◎財務会計 ◎会計監査	◎経営情報 ◎情報システム ◎システム技術	◎雇用政策 ◎組織行動 ◎システム倫理	◎スポーツマネジメント ◎フィットネスマネジメント ◎スポーツプロモーション ◎ヘルスプロモーションなど

在学生からのメッセージ

ゲーム機業界の
企業再建事例から、
業界戦略を探る。

商学専攻
博士前期課程 1年
巖 開さん



海外勤務帰任者と
国際事業を支える
仕組みを作る。

商学専攻
博士前期課程 1年
馬 四平さん



ゲーム機業界における市場構造や企業間競争などを対象とし、2つの企業におけるゲーム機事業の好転の要因となった戦略に焦点を絞り、オープンデータ、社史などのゲーム機事業に関わる資料、業界内の戦略情報を収集。業界を取り巻く社会情勢、ゲーム機事業再生の要因について分析を進めています。ゲーム機業界における企業再建の一考察を提示することで、業界活性化に寄与したいと考えています。

商学研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/business/about/graduate/>

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

経済学研究科

- 博士前期課程
- 博士後期課程



現実の経済社会が直面する問題に 対処できる人材を育成します。

博士前期課程では、理論・計量分析、公共政策・産業、国際経済・歴史の3分野において、多くの教員による少人数教育によって系統的な講義科目の修得をめざし、博士後期課程では、指導教員と関連分野の副指導教員との「複数指導体制」によって博士学位の取得をめざします。

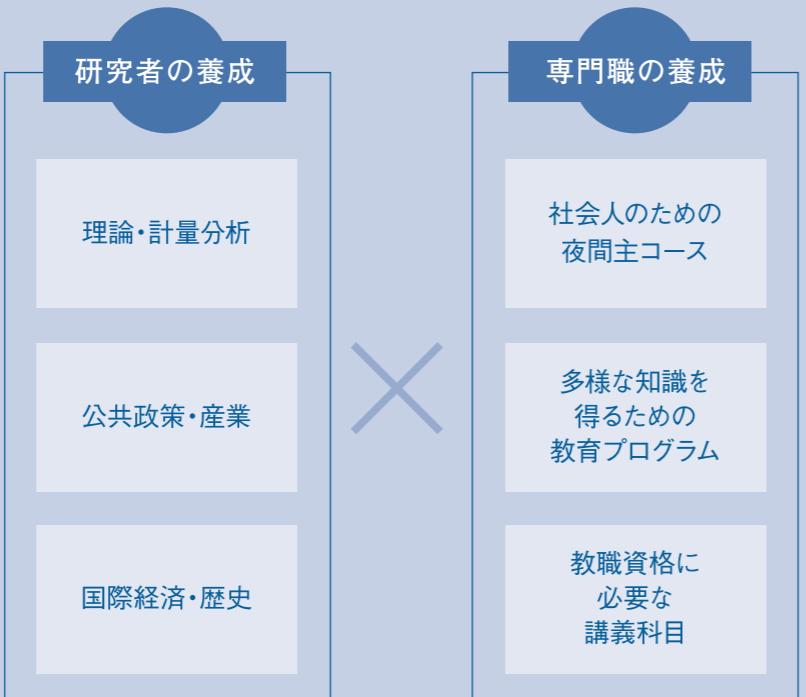


「実学の精神」を重視して、研究者や
専門職の養成を目的としています

経済学研究科の特長

高いレベルの研究者と
専門職を養成しています。

本研究科では、現実の経済社会が直面する課題を解決しうる研究者の育成と、高度な専門知識を持つ職業人の養成をめざしています。また、研究の場の門戸を社会人に広く開いた「夜間主コース」を設置するなど、その研究心を応援しています。



経済学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

研究科長メッセージ

最先端の研究に触れる機会を

近畿大学大学院経済学研究科は、以下の特徴を有しています。
第一に、理論、計量だけではなく、経済実験、フィールド調査、文献・史料解読といった分野でも先端的研究に携わる研究者が揃っています。
第二に、当該分野の中心的研究者を招いた学部主催の研究会に参加し、院生が最先端の研究に触れることが可能です。
第三に、夜間主コースもあり、社会人の方も無理なく学ぶことが可能です。
ぜひ本研究科において、経済学に関する幅広い知識を学ぶ機会を持たれることをお待ちしております。

研究科長 相馬 利行 教授

● 経済学研究科の教育理念

教育の目的である「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」を育成するため、第1に、経済学の各専門分野の先端的研究を、専門分野において優れた教員の指導下で行うことによる「高度な知識」に裏付けられた人材の養成。第2に、経済現象について「高度な分析能力」を持った問題解決型の人材の養成。第3に、「広い視野と温かい心」を持って、対人関係を構築できる人材の養成を目的とし、これまで、実に多くの修了生を社会に送り出しています。

● 授与する学位

博士前期課程／修士(経済学) 博士後期課程／博士(経済学)

● 進路イメージ

経済学の各分野で培った専門能力を生かし、企業の調査・審査部門や行政職の企画部門などで、問題解決型の人材としての活躍が期待できます。また、高等学校教諭専修免許状や税理士資格などの取得をめざし、それらの道に進む修了生もいます。

● 研究テーマ例

- | | | | | | |
|--------|-----------|--------|-------|---------|--------|
| ◎理論経済 | ◎応用計量経済 | ◎ゲーム理論 | ◎財政 | ◎交通経済 | ◎中国经济 |
| ◎経済史 | ◎行動経済 | ◎実験経済 | ◎地方財政 | ◎社会保障 | ◎日本経済史 |
| ◎ミクロ経済 | ◎経営情報システム | ◎空間経済 | ◎地域経済 | ◎金融市場 | ◎西洋経済史 |
| ◎マクロ経済 | ◎経営情報 | ◎公共経済 | ◎環境経済 | ◎都市政策 | ◎国際投資 |
| ◎金融論 | ◎経済地理 | ◎経済政策 | ◎社会調査 | ◎アメリカ経済 | |

など

在学生からのメッセージ

変革が著しい
自動車業界において
自動車部品メーカーの
可能性を探る。

経済学専攻
博士前期課程 1年
樋口 広喜さん



グローバル経済発展の
エンジンとして
中国経済の
可能性を探る。

経済学専攻
博士前期課程 1年
呂 亮君さん



中国の一帯一路戦略について、戦略の沿線国であるアジア、ヨーロッパ各国の通貨為替レートに対する人民元変動の影響についてデータ収集と整理、実証分析を行っています。中国経済はグローバル経済発展のエンジンとして解釈できることが興味深い点です。国際社会において人民元に対する注目が集まる中、人民元為替レート体制などの金融改革は、中国の経済発展にとって重要な課題です。今後の動向を把握しながら研究を進めています。

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

経済学研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/economics/about/graduate/>

Graduate School
of Economics

総合理工学研究科

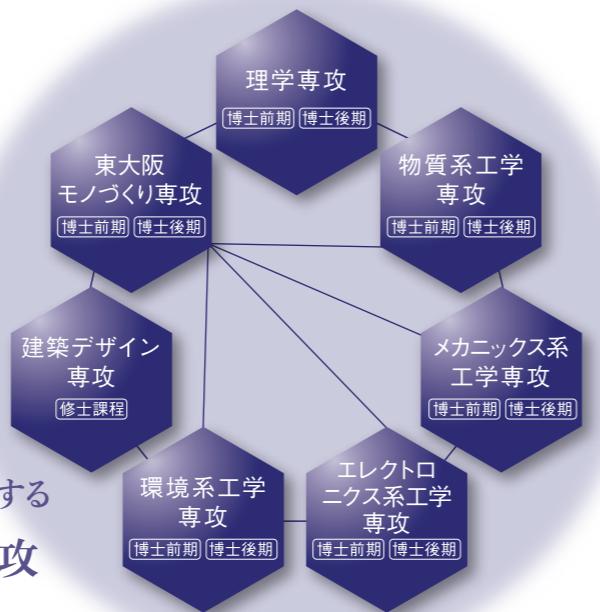
- 博士前期課程
- 博士後期課程
- 修士課程



総合理工学研究科では
幅広い領域を
学際的に研究します。

独創的な7つの研究ユニットによって、各分野を横断する自由な研究、
高次元の学際的な研究・教育を実現しています。
また、世界最高水準の研究機器が並ぶ共同利用センターを擁し、
私立大学としては類例のない施設・設備を整えています。

知の創造と産業の発展と福祉に貢献する
独創的な7つの専攻



総合理工学研究科の特長

産業、バイオサイエンス、環境分野、モノづくりへの応用研究まで
幅広く社会に寄与する研究活動を行っています。

総合理工学研究科は、高度な科学技術に関する教育と研究を通じて、地域社会、国および人類の知創造と平和と福祉に貢献することを理念とします。また、遺伝カウンセラー養成課程、新しい燃料資源バイオコーケスの研究開発、毎秒1億枚の超高速ビデオカメラの開発、次世代コンピュータの実現に向けた研究など、多様な研究活動を行っています。さらに2020年度からは、近畿大学が実施している大学の世界展開力強化事業(ロシア)「日露間で活躍できるモノづくり中核人材育成プログラム」の一環として、東大阪モノづくり専攻の博士前期課程にロシアからの留学生を迎えて日本語能力を必要としない学位プログラムがスタートします。このほか、本研究科にはアジアを中心に様々な国からの留学生(2019年度現在)が在籍し日本人学生と共に勉学・研究に励んでおり、学生の要望に応じて英語のみで実施する講義もありグローバル化が進んでいます。



総合理工学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

Graduate School
of Science and Engineering

研究科長メッセージ

自分の殻を破って世界に羽ばたける研究者・技術者を育成します。

理学・工学を取り巻く社会はめまぐるしく進歩しています。また、世界規模で広範囲にダイナミックな動きをしています。このような状況の中で活躍できる研究者・技術者には基礎理論に基づいた専門的な知識と応用力が求められます。

総合理工学研究科では、自由な発想で未知の領域を開拓できる研究者・技術者を育成します。

研究科長 竹原 幸生 教授

◎ 授与する学位

- | | | | | |
|------------------------|----------------------------|-------------------------|----------------|----------------|
| ●理学専攻
博士前期課程／修士(理学) | ●建築デザイン専攻
博士後期課程／博士(理学) | ●その他の専攻
修士課程／修士(建築学) | ●博士前期課程／修士(工学) | ●博士後期課程／博士(工学) |
|------------------------|----------------------------|-------------------------|----------------|----------------|

◎ 総合理工学研究科の教育理念

高度の専門性を要する職務の遂行に必要な幅広い学識および科学技術を修得とともに、研究職にあっては自立して研究活動を行う能力、技術職にあってはリーダーとしての高度な技術開発業務を統括し推進できる力を身に付けます。加えて、研究者・技術者としての社会的責任の自覚と、国際化も視野に入れたプレゼンテーションとコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目的に、理学から工学まで、人間環境から地球環境までを視野に入れた人間性重視の研究と教育を目標としています。

◎ 進路イメージ

研究者、教育者、技術者、公務員と進路はさまざまですが、大学院で学び身に付けたことを生かせる進路へと進んでいます。また前期課程修了者の中から後期課程へ進みさらに研究を深めるケースもあります。

◎ 研究分野例

理学専攻	メカニックス系工学専攻	環境系工学専攻	建築デザイン専攻
◎数理解析 ◎物理学 ◎機能性分子化学 ◎生物・環境化学	◎材料とプロセシング ◎エネルギーと流れ ◎情報と制御 ◎設計と生産	◎地球・人間環境工学 ◎都市・居住環境計画 ◎空間計画学 ◎構造工学 ◎耐風・耐震工学 ◎材料・地盤工学	◎空間計画学
物質系工学専攻	エレクトロニクス系工学専攻	エレクトロニクス系工学専攻	東大阪モノづくり専攻
◎分子プロセス工学 ◎複合物質工学 ◎材料創成工学	◎計測・情報システム ◎材料・デバイス ◎情報処理 ◎原子エネルギー	◎分子プロセス工学 ◎複合物質工学 ◎材料創成工学	◎総合理工学研究科の全研究分野に対応
物質系工学専攻	エレクトロニクス系工学専攻	エレクトロニクス系工学専攻	など

在学生からのメッセージ

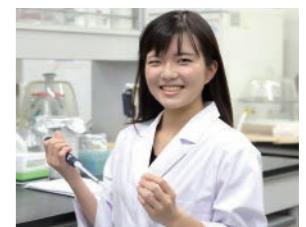
分離・自走する
介護ベッドを開発し
介護士と被介護者の
困りごとを解消する。



メカニックス系工学専攻
博士前期課程 2年
博士前期課程 2年
横 知香さん

介護ベッドの一部が分離・自走するベッド分離型移動車を開発しています。ベッドと車イスの移乗作業で生じる腰痛は介護士の離職原因でもあり、その手間を省くことで介護士の労働環境向上や離職率減少をめざしています。また、足の弱った被介護者が自分の意志で移動しやすくなるように、移動車の操作性や乗り心地を調査する評価試験も行っています。

患者さんが遺伝と
正しく向き合うための
サポートをする。



理学専攻
博士前期課程 2年
遺伝カウンセラー養成課程
加藤 芙美乃さん

遺伝カウンセラーは、遺伝に悩んでいる患者さんとご家族にさまざまな遺伝情報の提供と社会的・心理的サポートを行い、病気と向き合うための自律的意思決定を支援する専門職です。私は家族性腫瘍の遺伝子解析を行い、実際の遺伝カウンセリングへの活用をめざしています。この課程での講義や病院実習、研究を通じて、遺伝医学へ貢献できるよう日々励んでいます。

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

総合理工学研究科の詳細はWebでご覧ください。 >>> <https://www.kindai.ac.jp/science-engineering/about/graduate/>

薬学研究科

- 博士前期課程
- 博士後期課程
- 博士課程



生命、医療に対する高い専門性と倫理観を持つ人材を育成します。

薬学研究科では、薬学に関する独創的な研究を行い、卓越した洞察力と問題解決能力によって将来多様な薬学領域において指導的立場で活躍できる人材、人類の福祉と健に貢献できる人材の育成をめざします。

幅広い薬学分野の教育研究を行う
2つの専攻



薬学研究科の特長

薬科学専攻

創薬・生命科学研究の最先端を担う人材を育成

薬科学専攻では、創薬または生命薬学に関する研究を行い、研究成果を国内外で開催される学会で積極的に発表し、国際的な学術雑誌に原著論文として公表しています。学会発表では、これまでに多数の大学院生の発表内容が高く評価され、表彰されています。国際学会で発表を行う場合には、研究室の指導教員によるサポートに加え、薬学研究科に所属する専任の英語教員が、英語での発表や質疑応答に関するアドバイスを行っています。



薬学専攻

臨床薬学における指導的立場の人材を育成！



薬学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

研究科長メッセージ

薬学部の医療薬学科(6年制)の卒業生を対象とする「薬学専攻」と創薬科学科(4年制)の卒業生を対象とする「薬科学専攻」を設置しています。「薬学専攻」では、臨床における薬物治療に直接関係する研究を行い、高度な専門知識と問題解決能力を有する指導的薬剤師あるいは臨床を熟知した薬学研究者として将来活躍できる人材を養成しています。「薬科学専攻」では、創薬あ

Graduate School
of Pharmacy

研究科長 川畠 篤史 教授

● 授与する学位

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ・薬学専攻 | ・薬科学専攻 |
| 博士課程／博士(薬学) | 博士前期課程／修士(薬科学)
博士後期課程／博士(薬科学) |

● 進路イメージ

- | | |
|-------|--|
| 薬学専攻 | 大学病院、国公私立の地域基幹病院などで臨床研究を行う薬剤師、製薬企業における臨床開発・研究職や公的研究機関の研究員など。 |
| 薬科学専攻 | 製薬企業の研究・開発職や品質管理、医薬品情報担当者、化学あるいは食品関連企業などの研究者や技術者、公的研究所従事者など。 |

● 研究分野例

- | | | | |
|----------|----------|--------------|-----------|
| ○創薬分子設計学 | ○生命有機化学 | ○分子医療・ゲノム創薬学 | ○公衆衛生学 |
| ○医薬品化学 | ○薬品分析学 | ○機能製剤設計学 | ○臨床薬剤情報学 |
| ○薬用資源学 | ○病態分子解析学 | ○病態薬理学 | ○医療薬剤学 |
| ○天然活性物質学 | ○生化学 | ○薬物治療学 | ○医薬品評価解析学 |
| | ○化学療法学 | ○薬物動態解析学 | |

など

在学生からのメッセージ

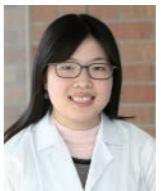
地道な実験が
導き出す、新たな
活性物質に期待。

薬科学専攻
博士前期課程 1年
シュレスタ・サリタさん



がん治療の痛みを
抑える治療薬の
開発に貢献したい。

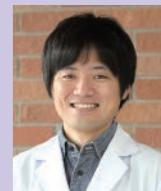
薬科学専攻
博士後期課程 2年
堂本 莉紗さん



研究テーマは、緊張緩和や不眠改善に効果があるとされてきたパッションフランワードの効果や成分の科学的解明。時計遺伝子調節作用成分を解明し、不眠症の改善や睡眠の質を向上させるサプリメントや創薬への応用で、母国・ネパールへの医療貢献をめざします。

ストレス顆粒を
解析し、がん等の
治療に貢献したい。

薬科学専攻
博士課程 3年
神田 勇輝さん



ストレスによって細胞内に形成されるストレス顆粒について、役割や形成機構の解析を進めています。がんや神経変性疾患の罹患者と健常者のストレス顆粒の構造や性質の違いを把握することは病気の治療に役立つ可能性があり、医療分野への貢献につながります。

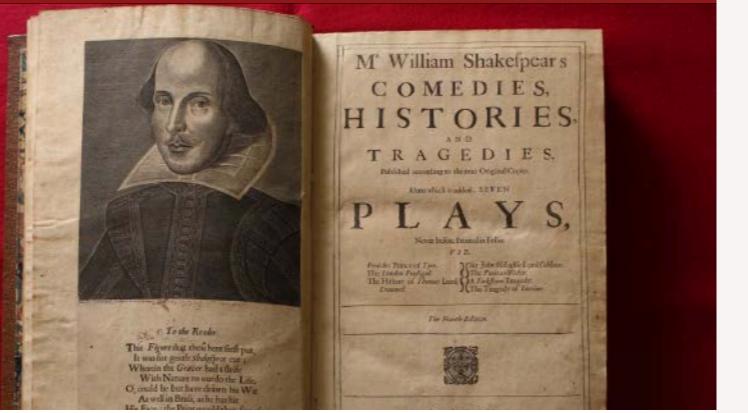
*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

薬学研究科の詳細はWebでご覧ください。



<https://www.kindai.ac.jp/pharmacy/about/graduate/>

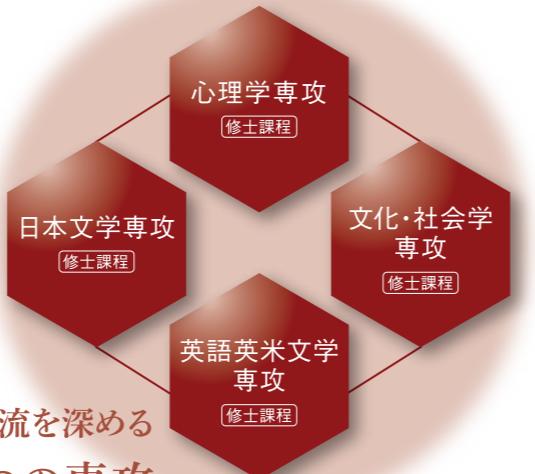
総合文化研究科 □ 修士課程



諸科学を総合する新たな「知」の創出を図り社会変動に呼応した学問・研究と向き合います。

日本文学専攻、英語英米文学専攻、文化・社会学専攻、心理学専攻の4専攻を設置。専攻ジャンルを追究すると同時に、境界を超えて他ジャンルとの交差・交流を深めることによって、専門の閉鎖性を排し、巨視的な視座に立って現代の先鋭的な諸学との交流・総合を図ります。

境界を超えて他ジャンルとの交差・交流を深める
4つの専攻



総合文化研究科の特長

日本文学専攻

■言語・文学コース

日本語と日本文学に関わるさまざまな言語状況の専門的な研究、作家や作品の時代背景を調査して新たな意味づけを見つけること、斬新なテキスト読解、日本語の理論的考察や社会的役割の解明などを多岐の領域で行っています。

英語英米文学専攻

英語文化圏の詩や小説、その他の文学作品を分析・解釈し、研究する過程においてあらゆる文学的真実を探ります。また、文学研究以外にも、教育者をめざす人のために英語教育、応用言語学も学びます。成果として作成される修士論文は、研究者としての第一歩となるもので、課程修了後、通常の就職先だけでなく、高校の教員、さらに博士課程のある他大学に進学し、大学教員となる道も開けます。

文化・社会学専攻

■歴史学コース

文献史料、テクスト解説、地域調査等を通じて、時間的には原始・古代から近現代まで、空間的には日本から世界各地にわたる歴史や文化の研究とその応用をめざします。歴史学、考古学、民俗学の方法論を自在に活用し、人間の営みについて大きな視野で考えています。

■社会学コース

グローバルに展開し、複雑化する現代社会を理論と実践のバランスのとれた総合的な研究を通じて的確に理解することをめざします。その基礎の上に現代社会が直面する社会問題に取り組み、あるべき社会の姿を考えていきます。

心理学専攻

■心理学コース

人間の心的活動や行動のメカニズムについて、理論的、実証的に究明します。そしてさまざまな環境や社会的場面における心理学的諸問題の解決法を探り、生活や生きがいの充実を考えます。

■創作・批評コース

近代文学の創作技法の分析、思想・批評の理念およびイデオロギーの解明を世界的視野に立って研究し、文学、思想、歴史、文化、経済などさまざまなジャンルを横断して新たな知の創出に力を入れています。

■現代文化学コース

現代の多様な文化現象を複合的な視点から読み解く能力の育成をめざし、複雑な現代社会をアクティヴに生き抜く方法を研究します。哲学、美学、倫理学、ジェンダー論、メディア論、芸術論などを横断しながら、既存の学問分野に収まらない領域を探究することができます。

■都市学コース

都市問題や地域問題を対象に、その解決に向けて実践的な研究を行います。都市社会学・都市地理学・都市計画学・環境政策学などを用いた学際的アプローチによって、まちづくり、地域活性化、観光、環境問題など都市・地域をとりまく現代的課題を探究します。

■臨床心理学コース

心理学の基礎知識を前提にして、教育、医療、福祉、産業などの領域における心理臨床的な実践方法を学び、実証的な研究を行います。そして実習を通して援助技法、検定技法を習得するとともに高い倫理観を持った専門家を育成します。



総合文化研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

Graduate School
of Interdisciplinary Human Studies

研究科長メッセージ

豊かな創造力を持つ専門家の育成

総合文化研究科は、芸文学部と総合社会学部の上に立つ大学院として、2014年度に発足しました。教育・研究方法です。本研究科では、それぞれの専門分野に関する知識や技能を修得し、研究能力を有する専門家を育成するとともに、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養とそれを支えているのは、文献・古文書を読み解く、調査・

研究科長 鈴木 拓也 教授

● 授与する学位

●日本文学専攻
修士課程／修士(文学)

●文化・社会学専攻
(歴史学コース・現代文化学コース)
修士課程／修士(文化学)

●文化・社会学専攻
(社会学コース・都市学コース)
修士課程／修士(社会学)

●心理学専攻
修士課程／修士(心理学)

● 総合文化研究科の教育理念

総合文化研究科は、言語、文学、芸術、文化、歴史、社会、心理など、人間の営みに関する多様な学問領域の交差・交流を通して、複合的な視点から21世紀の現実に向き合うための新たな「知」のパラダイムを創出する場です。各専攻・コースにおける専門知識に加えて、諸領域の先端分野を横断できる柔軟で幅広い教養と、多面的な人間理解に基づく社会的実践力を修得し、総合的な思考力と判断力を持って国際社会や地域社会で指導的な役割を果たそうとする多彩な人材を養成することをめざします。

● 進路イメージ

主に想定されるのは、研究者や大学教員(博士課程への進学)、中学・高校の教員、博物館・美術館の学芸員、作家や評論家、ジャーナリスト、地方自治体の特別調査員、都市計画コンサルタント、NGOやNPOの職員、公認心理師、臨床心理士などです。

● 研究テーマ例

日本文学専攻

- ◎古典研究
- ◎近現代文学研究
- ◎日本語研究
- ◎創作・批評研究

英語英米文学専攻

- ◎イギリス文学研究
- ◎アメリカ文学研究
- ◎英語教育・応用言語研究

文化・社会学専攻

- ◎考古学研究
- ◎歴史学研究
- ◎社会学研究
- ◎民俗学研究

心理学専攻

- ◎心理学研究
- ◎臨床心理学研究

など

在学生からのメッセージ

ネットコミュニティで社会的、経済的に好影響を与える。

文化・社会学専攻 修士課程 2年
岡田 真吾さん



リアリズム論を学び、台湾の思想シーンにも反映させたい。

日本文学専攻 修士課程 2年
邱政芃さん



子どもの発達に悩む保護者を心理学でサポート。

心理学専攻 修士課程 2年
服部 光希さん



イギリス文学を通して異文化への理解を深める。

英語英米文学専攻 修士課程 2年
西田 侑記さん



総合文化研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/lit-art-cul/about/graduate/>

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

農学研究科

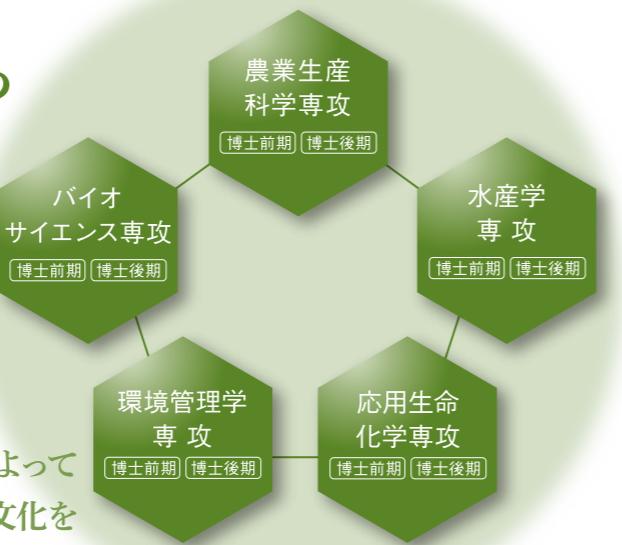
- 博士前期課程
- 博士後期課程



深い学識と高度な科学技術を持つ 目的志向型研究者を育成します。

農学研究科では、農業、生命(生物)、環境、食料、健康(医療)の各分野を生物学、化学、物理学、バイオテクノロジーを基盤に、生物の生態、生理、成長、生殖、分化、遺伝などの諸現象を個体、器官、細胞、分子(遺伝子)レベルで解明し、応用するための教育と研究を行っています。

人に密接する領域研究によって
豊かな生活・文化を
創出する5つの専攻



農学研究科の特長

食料・環境・健康と密接に関連した分野の
教育・研究に重点を置いています。

水産学専攻

大規模な養殖研究施設を主要な研究フィールドとして、「生け簀から食卓まで」をカバーする実践的研究者・技術者を養成しています。



環境管理学専攻

生態学を共通基礎とし、化学的、生物学的、物理的、水文学的、社会学的な知識と手法で、環境に関わる専門知識の修得とともに、環境問題の解決のための能力を育てます。



農業生産科学専攻

農業生産科学専攻では、農業生物資源の安定供給を目的とし、新規生産技術の研究開発に向けた教育をめざします。



応用生命化学専攻

生命、資源、環境、食品をキーワードに、種々の生物を対象として、遺伝子・タンパク質や細胞レベルでの構造や機能を解析し、環境浄化、疾病予防、食品・医薬品・有用資源の開発へ利用する研究を行っています。



バイオサイエンス専攻

生体機能科学・分子機能化学分野からなり、食料、医療、創薬、エネルギーなど、人類が直面する問題の解決に向けた先端的なバイオサイエンス教育・研究を実践します。



農学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

研究科長メッセージ

最先端研究により、次世代型の農林水産技術開発とグローバルな人材育成をめざす。農学研究科は、農業生産科学、水産学、応用生命化学、環境管理学、バイオサイエンスの5つの専攻から構成され、食料、環境、健康、エネルギーの4つの柱に関わる先進的で独創的な基礎研究と応用研究を開拓しています。このような研究により、環境変動にも左右されない、

次世代型の農林水産技術を開拓するとともに、グローバルに活躍できる研究者・技術者を育成することが、我々の責務であると考えております。

研究科長 川崎 努 教授

● 授与する学位

博士前期課程／修士(農学) 博士後期課程／博士(農学)

● 進路イメージ

博士前期課程、博士後期課程を通して卒業後の進路は多岐にわたり、一般企業、公務員、独立行政法人、大学・高校など、各分野の第一線で研究者、技術者、教育者として活躍しています。

● 専攻分野例

農業生産科学専攻

- ◎作物学
- ◎育種学
- ◎園芸植物学
- ◎花卉園芸学
- ◎植物感染制御工学
- ◎昆蟲学
- ◎農業経営経済学
- ◎植物・人間関係学

水産学専攻

- ◎水産増殖学
- ◎水産生物学
- ◎漁業生産システム
- ◎水族環境学
- ◎水産利用学
- ◎水産経済学

応用生命化学専攻

- ◎応用微生物学
- ◎食品微生物工学
- ◎応用細胞生物学
- ◎生物制御化学
- ◎生命資源化学
- ◎森林生物化学
- ◎食品機能学

環境管理学専攻

- ◎水圈生態学
- ◎生態系管理学
- ◎環境化学
- ◎自然資源管理学
- ◎環境政策学

バイオサイエンス専攻

- ◎生体機能科学
- ◎分子機能化学

在学生からのメッセージ

発展途上のテーマ

「森林環境教育」で
地球環境の健全化に取り組む。



環境管理学専攻
博士前期課程 1年
奥芝 理那さん

大学3年次に公募事業「県内大学生が創る奈良の未来事業」で事業予算を獲得し、中高生を対象に出前授業や林業体験などの森林環境教育を行うプロジェクトを始動。事業で明らかになつた課題と向き合うために大学院に進学しました。現在は森林環境教育のプログラムの開発と検証をテーマに研究を行っています。開発したプログラムが全国の森林環境教育に活用されていることが一番の成果。卒業後は公務員として、森林環境教育の発展と充実をめざします。



繁殖にかかわらないイルカの
性行動を解明し、水族館での
繁殖の糸口にしたい。

水産学専攻
博士後期課程 2年
宮西 葵さん

野生のミナミハンドウイルカと飼育ハンドウイルカの社会的性行動、つまり同性同士や母子ペアで交尾のような行動をしたり、生殖エリアへ接触したりする行動を研究中です。性行動が子孫を残すだけの行動ではないところにイルカのコミュニケーションの多様性を感じます。飼育下のイルカが繁殖に成功するためには、どのような経験や学習が必要なのか詳しくわかつていません。社会的性行動と繁殖との関係を解明することにより、この研究が水族館内のイルカの繁殖成功の一助となることを期待しています。

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

農学研究科の詳細はWebでご覧ください。

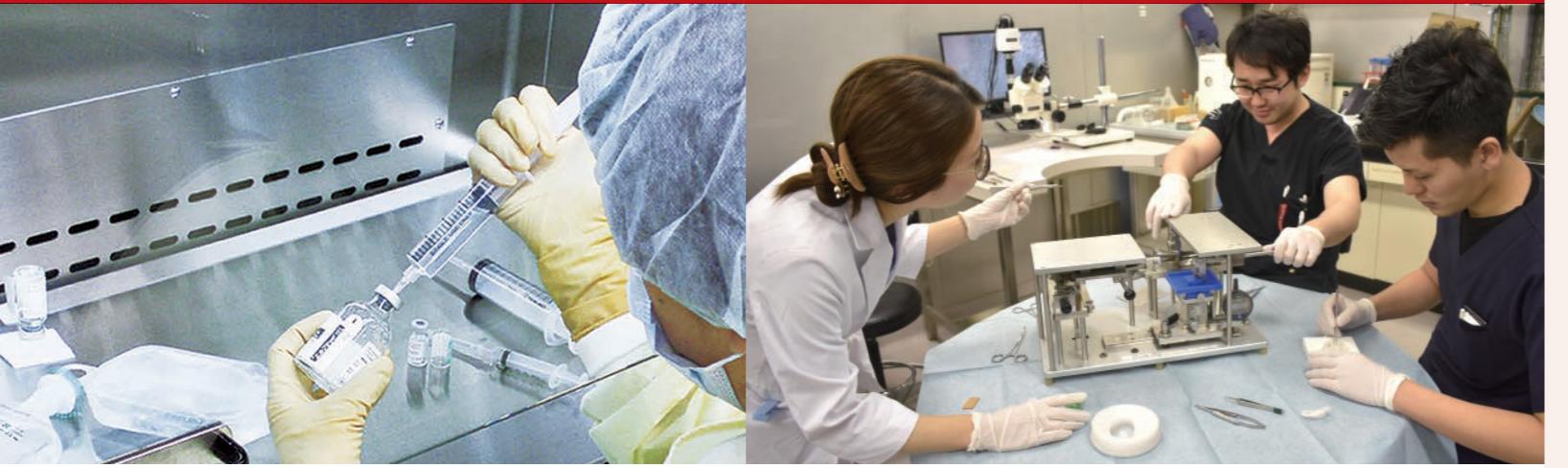


<https://www.kindai.ac.jp/agriculture/about/graduate/>

Graduate School
of Agriculture

医学研究科

□ 博士課程



基礎研究者と臨床研究医の養成によって 健やかな生命の営みに貢献します。

医学研究科では、専攻分野に関する確かな学識に裏付けされた研究活動を自立して行い、
さらに新鮮な着想と独創性のある重要な研究課題に積極的に取り組むことができる
医学系研究者の育成をめざします。

独創的で、実用的な研究活動を自立して行う
研究者および高度医療人を育成する

医学系専攻
博士課程

医学研究科の特長

血液・免疫・膠原病／機能制御学

造血器腫瘍領域では、腫瘍特異的で副作用の少ない分子標的治療薬が数多く開発され、一部の腫瘍では、難治とされてきた症例に治癒がもたらされるほどの成果をあげています。今後の課題は、分子基盤に基づいた疾患の層別化と治療法の確立です。当分野では、臨床の教室としての利点を活かし、症例から得た検体を用いて、造血器腫瘍の発症に関わる分子機構を解明する基礎研究を精力的に行ってています。さらに、この成果を新たな治療に繋げることをめざしています。

膠原病領域では、炎症性サイトカインやシグナル伝達を標的とした数多くのリウマチ治療の経験から、これまで予測し得なかった現象が観察され、新たな病態や治療法の研究が盛んでいます。臨床材料や実験動物を用いて、全身性エリテマトーデスや強皮症の難治性病態に対する新たな分子標的薬、抗線維化薬、免疫調整薬等を用いた治療法の研究を行っています。当分野には、松村 到教授はじめ、造血器腫瘍、膠原病の基礎研究に精通したスタッフが在籍しています。院生が希望するテーマに基づき、個別指導によって、基礎的な知識と技能、研究を企画・遂行できる能力に加え、医学研究に必要な倫理観と安全管理能力を身に付けるための研究指導を行っています。また、希望する大学院生は基礎研究に従事とともに、「7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン」を履修することで、さまざまな腫瘍に対する治療法、臨床試験や橋渡し研究を推進するために必要な知識を習得することができます。



医学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

Graduate School
of Medical Sciences

研究科長メッセージ

基礎研究が直ちに医療に役立つ時代の医学研究者を育成します。

分子標的薬や抗体医薬の一般化により、研究室での発見が早ければ数年以内に医療の現場に持ち込まれ、目覚ましい成果を挙げる時代になっています。医学研究科では、専攻分野間の垣根を可能な限り取り払い、入学者全てに対し、共通した科学的思考力と研究技量の修得を求めていました。さらに、自己の専攻分野以外の優れた研究手法や業績に幅広く触れる機会を提供し、早期に適切な目標を定め、国際的に評価される業績によって学位申請ができるよう指導体制を整えています。医学部共同研究施設の提供する優れた研究支援サービスは、大学院学生もフル活用できます。新専門医制度の導入など、医学研究者の育成に困難が生じかねないと懸念する向きもありますが、基礎研究が極めて速いペースで医療の現場を変えている今こそ、医学研究科の果たす役割が大きいと信じ、優れた人材の育成と国際的評価の向上に一層努めます。

研究科長 宮澤 正顯 教授

● 医学研究科の教育理念

・基礎医学系分野

「特定の研究分野についての深い研究を自立して行う研究者の養成」を目標に、研究者に求められる医学・生命科学研究の遂行に必要な基本的知識・技術などを修得します。

・臨床医学系分野

「高度な専門性を必要とする業務に必要な能力と研究マインドを涵養すること」を目標に、臨床医師として必須の、病態に対するチャレンジ精神の涵養と治療理念の確立をめざします。

● 授与する学位

博士課程／博士(医学)

● 進路イメージ

大学の教員など研究者として、医療機関での臨床医として、また企業での研究者あるいは指導者として活躍することができます。

● 研究テーマ例

基礎医学系分野

- 神経構造機能学
- システム脳科学
- 分子生体制御学
- 細胞病態制御学
- 薬理学
- 病因病態探索学
- 神経ウィルス学・免疫学
- 免疫応答制御学
- 環境医学・行動科学
- 疫学・健康科学

○法医学

- 分子腫瘍病態学
- 医学物理学

臨床医学系分野

- 循環器内科学
- 内分泌代謝病態制御学
- 消化器病態制御学
- 血液・免疫・膠原病／機能制御学
- 神經病態制御学
- 環境医学・行動科学
- 疫学・健康科学

○腎臓病態制御学

- 精神病態医学
- 発達小児医学
- 環境皮膚病態学
- 放射線腫瘍学
- 放射線診断・画像応用治療学
- 臨床検査医学
- 臓器病態制御外科学Ⅰ
- 臓器病態制御外科学Ⅱ
- 臓器病態制御外科学Ⅲ
- 臓器病態制御外科学Ⅳ
- 呼吸器・アレルギー病態制御学

○心血管機能制御外科学

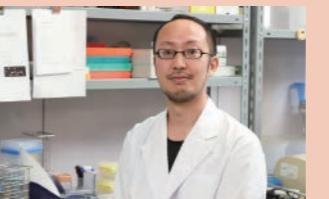
- 運動器機能病態制御学
- リハビリテーション医学
- 形成・再建外科学
- 腎泌尿器外科学
- 視覚科学
- 感覺器頭頸部外科制御学
- 女性機能病態・周産期医学
- 麻醉・疼痛制御・集中治療学
- 救急医学
- 緩和医療学
- 心身医学

など

在学生からのメッセージ

未知なる現象の
解析に挑み、成果を
患者に還元したい。

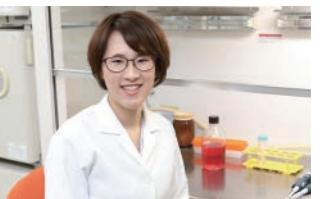
医学系専攻
博士課程 2年
村上 幸祐さん



臨床医として診療を行う中で痛感する治療の限界。新たな方法論を求めて研究科に進学しました。日本人に多い卵巣明細胞がんは、抗がん剤が作用しづらい特性があります。卵巣明細胞がんと腫瘍免疫との関係から免疫療法を見出そうと、免疫学教室に所属し卵巣明細胞がんマウスモデルを確立、研究に取り組んでいます。

日々進歩する
再生医療の基礎研究で、
医学の発展に寄与する。

医学系専攻
博士課程 2年
法里 慧さん



日常の診療を通じて基礎研究の重要性を感じ進学。高度先端総合医療センター再生医療部にて、幹細胞の作成と分化誘導の研究を行っています。マウスの骨髄間葉系幹細胞を用いて加齢に伴う細胞内の変化を解明することで、現在、社会的な注目を集めているエイジングケアを基礎研究の面から発展させたいと考えています

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時（令和元年度）のものです。

医学研究科の詳細はWebでご覧ください。



<https://www.kindai.ac.jp/medicine/about/graduate/>

生物理工学研究科

- 博士前期課程
- 博士後期課程



生物学的背景を有する高度研究技術者を 養成し社会の発展に貢献します。

生命現象や生物・生体の優れた機能と仕組みを解明し、医療・福祉機器、コンピュータ、ロボット技術などさまざまな工学的分野に応用するとともに、それら生物学と理工学の学問分野が相互に関係し合う、これまでにない研究開発分野を拓いています。21世紀COEプログラムや大学院GPに採択されるなど、研究レベルの高さは世界トップクラスです。

生き物と機械論的世界観を 融合し究める 2つの専攻



生物理工学研究科の特長

生物工学専攻

生命現象や生物の機能の解明をめざす基礎的研究と、得られた知見の工学的応用をめざす戦略的研究を行っています。学部で展開する生物工学、遺伝子工学、食品安全工学の教育研究を横断的に集約したカリキュラムで、高度な専門知識を備え、国際舞台で活躍できる技術者や研究者の養成に力を入れています。また、社会人入学やリカレント教育を重視したプログラムも充実しています。



生体システム工学専攻

機械・電子・情報通信といった工学分野と医療・福祉工学、健康科学、生活科学といったライフサイエンス分野を横断する「生体システム工学」に関する教育研究を通じて、学際的視野を持ち、超高齢社会に対応した人間生活の質の向上に結びつく科学技術に貢献できる研究者および技術者を育成します。ナノ・機能材料工学、生体医工学、情報通信工学、人間生活環境工学、先進計算科学の5分野について幅広い高度専門教育を行います。



修了生 Voice

拓殖大学
工学部デザイン学科
助教
森岡 大輔さん



在籍時は、脳卒中などの後遺症により片麻痺を患った方に処方される福祉用具PAFO(プラスチック短下肢装具)の製作方法における課題の解決に取り組みました。これまで医師や義肢装具士の経験による処方でしたが、PAFOに作用する力学的荷重とその影響による変形の大きさを計測することで処方基準を見いだすとともに、デジタル技術を応用した装具製作のシステムの構築をめざしました。この研究を通じて、産官学連携の取り組みに参加できたことも有意義な経験の一つです。現在は拓殖大学工学部デザイン学科で、主にユーザエクスペリエンスデザインを担当し、ものづくりにおいて「勘や経験による製品づくり」ではなく、「科学的根拠に基づいた製品づくり」ができる人材育成と、引き続き福祉用具の研究に取り組んでいます。



生物理工学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

研究科長メッセージ

社会の福祉と持続的発展に寄与できる人材の育成をめざします。

生物理工学研究科は、「食糧」、「医療・福祉」、「人間生活の環境」にかかわる様々な課題に取り組むことができる、洞察力と創造性に富んだ技術者・研究者を養成することを目標としています。文部科学省・組織的な教育改革推進プログラムの成果をさらに発展させ、実践的・横断的な

研究科長 秋田 求 教授

● 授与する学位

博士前期課程／修士(工学) 博士後期課程／博士(工学)

● 進路イメージ

生物工学専攻は、食品関連や化学工業および医療関連企業・薬品関連・バイオ関連の高度技術者・研究者として活躍することが期待されます。生体システム工学専攻では、機械・電気電子・情報通信系企業に加えて、バイオ情報・医療関連企業・医療機器・福祉介護機器・スポーツ健康機器などのメーカー、医療機関において、高度技術者・研究者として活躍することが期待されます。

● 研究テーマ例

生物工学専攻 ○卵胞の体外培養における抗酸化物質の影響 ○化粧品の機器計測技術と製造プロセスの開発 ○果実類に含まれる機能性成分の探索とその利用技術の開発 ○食品成分による糖質・脂質代謝制御に関する研究 ○環境負荷の小さい微生物農薬の開発 ○クローンマウスのリプログラミング機構 ○生殖・発生工学による希少動物種の再生 ○ES細胞の核内構造と分化制御 ○受精卵の全能性獲得時ににおけるエピジェネティックリプログラミングの解明に関する研究 ○微生物農薬 ○軟体動物における殻体形成の分子進化 ○コラーゲンヘリックスのコンホメーション変化による機能発現変化の解析 ○果樹非食用部位からの機能性代謝産物の探索とその構造解析 ○青果物の栽培から一次加工における微生物制御に関する研究 ○アミロイド線維ならびにウイルス殻の形成機構および圧力解離 ○作物の多収性に関する育種学およびイネの粒大遺伝子の解析 ○植物の病害応答機構の分子メカニズム ○真珠層・稜柱層形成を制御するタンパク質とその遺伝子に関する研究 ○高度植物生産環境制御システムの研究開発 ○食肉の品質評価と向上技術、エコフィード利用に関する研究 など

生体システム工学専攻 ○業界線を用いた微細加工による医用デバイスの開発 ○電子デバイスプロセスを応用した医療用機器作製法の研究 ○薄膜合成プロセスを用いて創製した新奇生体セラミックスの物理的・化学的性質および生体親和性の評価 ○バイオマテリアルと医療機器開発 ○筋骨格系組織の力学的適応制御機構に関する研究 ○新たな信号処理アルゴリズムの開発と音響信号・生体信号への応用 ○統計・情報理論に基づく生体・生体機能の数理解析とその応用研究 ○視覚認知機能の実験的検討と視覚神経系のモデルシミュレーション ○AIによる認知症・アルツハイマー病の画像診断アルゴリズムの実用開発 ○薄型アクティブ遮音構造体による静かな居住空間の創製 ○介助大口ポートプロジェクト ○計算科学による生命分子の理論研究 ○生体模倣媒質・周期構造による散乱電磁波の数値解析に関する研究 ○循環系・代謝系人工臓器の開発 ○住空間の温熱環境の解析 ○知覚白色度の定量的評価 ○メラノーマ診断支援システムの開発 ○アルツハイマー病の初期分子機構のシミュレーション ○複合材料製津波避難シェルターの開発、積層板理論に基づくCFRP曲面設計 など

在学生からのメッセージ

タンパク質の世界から
新規抗がん剤の
メカニズムを探る。

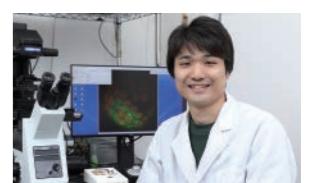
生体システム工学専攻
博士前期課程 2年
松倉 里紗さん



がんの進行に関係するといわれているタンパク質の機能と、その機能阻害を行う新規薬剤の作用メカニズムについて研究を行っています。博士後期課程への進学を考えており、現在の研究の他に、DNAやRNAなどの核酸を用いた薬剤、ヒトの抗体を基にした抗体医薬など、新しいタイプの薬剤に関する研究を行っていきたいと考えています。

DNAメチル化技術で
受精卵の
研究を深める。

生物工学専攻
博士後期課程 1年
波多野 裕さん



遺伝子発現を調節するといわれているDNAメチル化に注目して研究を行っています。ゲノム編集技術を応用した、DNAメチル化情報の書き込みができるエピゲノム編集技術を用いて、受精卵のある特定の遺伝子領域だけのDNAメチル化を操作することでその機能を解明することをめざしています。

● 生物理工学研究科 博士後期課程

生物理工学研究科博士後期課程では、これまで57名に博士(工学)の学位を授与しています。平成28年4月から、生物工学専攻および生体システム工学専攻の2専攻として新たに生まれ変わり、今後、最先端分

野でのさらなる研究実績や、専門的な研究者・技術者の育成に期待が寄せられています。

生物理工学研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/bost/about/graduate/>

システム工学研究科

- 博士前期課程
- 博士後期課程



人間・環境・モノが調和・協調するシステムを提言できる研究者・技術者を育成します。

システム工学研究科では、持続可能な社会を築くための技術開発に貢献する研究者や高度専門職業人としての技術者をめざす人材を求めていきます。科学技術はますます高度化・細分化される方向にあるものの、本研究科の教育課程では専門分野の高度な知識と技術を獲得するだけでなく、専門領域を含んだ総合的な科学技術の獲得をはかるカリキュラムを設定しています。具体的には、学部での学科構成に対応した6コース制に分かれた専門科目群や、共通科目や分野横断科目での学びをとおして、総合的な能力を身につける教育・研究を行います。

人間の生活を豊かにしウェルビーイングを高める
さまざまな製品の開発や生産技術にアプローチ

システム工学 専攻

博士前期 博士後期

システム工学研究科の特長

生物化学コース

生物工学と化学が融合する分野横断的な領域において、システム的思考によるアプローチにより、「ヒトと自然との調和・共生」の実現をめざします。

機械工学コース

材料加工分野、エネルギー分野、計測制御分野を柱とした教育・研究の実践により、次世代の機械システムを開発できる技術者を育成します。

ロボティクスコース

機械と情報を融合した機械システム分野の研究を進めることによって、ロボティクス分野に関連する高度な技術と幅広い知識を有する、創造性豊かな技術者を育成します。

電子情報工学コース

電子工学、情報工学、計測制御工学を技術横断的に融合した分野の研究・教育を行い、システムの設計・構築・運用に必要な柔軟性とバランス感覚を持つ技術者を育成します。

情報コース

「情報数理」と「情報メディア」を柱とした教育・研究を幅広く展開し、高度情報化社会の要請に柔軟に対応できるエキスパートを育成します。

建築コース

建築設計や生産技術の研究を基本に、社会的な領域である都市・地域計画なども含めた視点から、人・地域・環境に貢献できる研究を行います。

地域連携による研究活動と人材育成

地域連携による次世代自動車技術・ロボット開発・3Dプリンタなど

未来を創る多彩な分野の研究を推進

広島県は大手自動車メーカーを中心に、多くの関連企業が裾野産業となっている自動車産業の盛んなものづくり地域です。近畿大学広島キャンパス(工学部／システム工学研究科)では自動車産業の集積地という特徴を生かして、地域企業や公設機関など内外の研究者と連携して、次世代自動車技術の研究を推進しています。その要の研究拠点として「次世代基盤技術研究所」が設立され、現在では先端ロボット技術を活用した医工連携分野での実用化研究や、3D積層造形技術開発などの研究が実施され

■ CO₂低減のための新燃焼エンジンの研究

次世代のエネルギーとして注目されている水素・バイオガス・天然ガスを活用した新しいエンジン燃焼技術を、燃焼のレーザー計測やエンジン性能計測などを駆使して研究開発しています。



システム工学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

研究科長メッセージ

生涯にわたって社会に貢献できるエンジニアをめざして！

研究者や技術者には特定の領域における高度な専門知識が求められます。一方、現代社会における諸問題はますます複雑化しており、一つの領域における専門知識だけでは問題解決に至らない事例が急増しています。システム工学研究科では、専門領域の壁にとらわれることなく、工学を中心とした幅広い学問分野を横断的に学べるよ

うに、生物化学・機械工学・ロボティクス・電子情報工学・情報・建築の6コースからなる教育体制を整えています。在学中に修得した知識や技術を基盤として、大学院修了後も様々な新たな英知に柔軟に対応して自己研鑽ができる人材、そして生涯にわたって社会に貢献できる人材の育成に尽力いたします。

研究科長 萩原 昭夫 教授

● システム工学研究科の教育理念

高度専門職業人としての研究者・技術者の育成をめざしています。基礎的原理の応用や複雑な現象の解明、さらに既存技術の修得のもと、広い視野に立った工学の解析方法を身に付け、人間と環境が共存できる社会の構築に寄与することを理念としています。特に、実益的な技術との連結を重視しながら、ますます複雑化する技術課題に、多様な解決策を提言できる技術者の育成をめざします。また基礎工学から、精深な専門技術までを包含する教育・研究を、地球環境との関連性を重視しつつ、幅広く展開します。

● 授与する学位

博士前期課程／修士(工学) 博士後期課程／博士(工学)

● 進路イメージ

これまでの修了生の高い専門性が社会から高く評価されていることにくわえ、近畿大学が有する総合力を生かして、全国に広がる就職実績企業や多数の修了生から情報を取得し、実りのある進路を可能にしています。また、行政や公設機関の支援のもと、地域産業との連携強化を図る工学部産官連携推進協力会も、大学院生の進路実現の一助として機能しています。

● 主な研究内容

生物化学コース

- ◎機能界面の創出と応用
- ◎機能性化合物の開発
- ◎多因子性疾患の代謝生化学
- ◎環境中化学物質の動態評価
- ◎食品製造、加工、保存、分析などに関する研究

ロボティクスコース

- ◎機械システム開発
- ◎ロボット制御
- ◎ロボット設計
- ◎ビーグルシステム工学

情報コース

- ◎システム最適化技法の開発
- ◎人工知能(AI)を用いた生産計画とスケジューリング解析
- ◎音楽コンテンツの高付加価値化
- ◎サラウンド音響の可視化技術
- ◎画像の3次元再構成技術

機械工学コース

- ◎金属材料加工
- ◎生産加工
- ◎熱・流体エネルギー
- ◎音響システム
- ◎機械システム制御

電子情報工学コース

- ◎超伝導センサを用いた非破壊検査
- ◎静電誘導電流検出技術を用いた研究
- ◎非線形数学の情報処理への応用
- ◎人工知能(AI)を駆使した知能システムの研究と開発
- ◎IoT環境における安全なメッセージング方式の研究

建築コース

- ◎建築、都市空間の意匠設計
- ◎都市環境解析
- ◎建築構造システム解析
- ◎環境構成材料の開発
- ◎環境制御・省エネルギー・システム設計

在学生からのメッセージ

金属3Dプリンタという
新しい技術を
盤石なものにしたい。

システム工学専攻
博士前期課程1年(ロボティクスコース)
湯浅 健也さん



生産技術の研究者として、
ものづくり
エンジニアをめざす。

システム工学専攻
博士前期課程1年(電子情報工学コース)
村中 元紀さん



取り組むのは、製菓工場の製造ライン上で作業員が行う良品不良品の選別作業を、人工知能と画像処理を用いて自動化する目視検査自動化システムの研究。判断基準の選定、筐体の設計、判別プログラムの仕様など、幅広い専門知識が必要ですが、高齢化社会で深刻化する働き手不足の問題の解決につながると考えています。

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時(令和元年度)のものです。

システム工学研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/engineering/about/graduate/>

産業理工学研究科

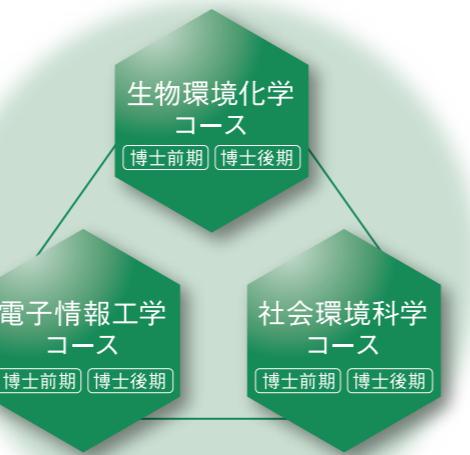
- 博士前期課程
- 博士後期課程



「ハードサイエンス」と「ソフトサイエンス」が融合する 新時代のスペシャリストを育成します。

今までの経済発展を支えてきた、経済効率と合理性を追求する学問・技術としての「工学」は、今まさに過渡期を迎えようとしています。技術における人間的要素と地球全体を視野に入れたグローバルな視点の重視という、これからの時代の要請に応えるため、本研究科では「ハードサイエンスとソフトサイエンスの融合」をキーワードに、新時代に調和する最先端の産業技術について教育・研究を進めています。

未来の社会を創る最先端技術を学ぶ 3つのコース



産業理工学研究科の特長

■ 生物環境化学コース

3つの研究分野から構成されています。材料系では、電池から生体適合性材料まで、最先端の幅広い分野を対象にしています。環境系では、環境モニタリング・浄化など環境に関わる分野を生物・化学の視点からアプローチ。生物系では、ゲノム医薬・食品工学など、あらゆる角度からライフサイエンスを研究しています。

TOPIC がんや老化の原因遺伝子を解明し、 その制御法を開発～細胞生物学研究室～

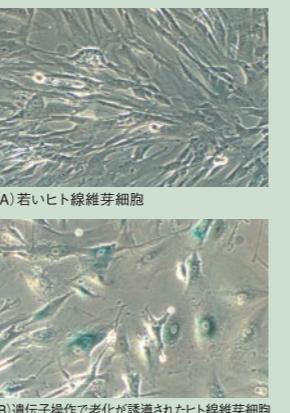
動物細胞培養技術や遺伝子工学を用いて、ヒトのがんや老化に関わる遺伝子を探査し、その機能解明を行っています。さらに、それら遺伝子の発現制御機構を明らかにし、抗がん剤やがん診断マーカーの開発など、創薬・医療・産業分野に貢献する研究をめざしています。近年の研究で、ヒトは「長鎖ノンコーディングRNA遺伝子」を1万種類以上持っていることが明らかになりましたが、その機能のほとんどは不明です。これまで、我々のグループはいくつのかの長鎖ノンコーディングRNA遺伝子が、細胞老化・細胞

■ 電子情報工学コース

4つの研究分野から構成されています。応用電子工学系では、センシングシステム・プラズマ応用・パワーエレクトロニクス、制御情報工学系では、装置の制御・高速伝送・並列処理、情報システム系としてネットワーク・セキュリティ・データベース、数理システム系では、数理モデル化と応用について研究しています。

■ 社会環境科学コース

4つの研究分野から構成されています。環境計画系では、高度な専門知識を有する建築技術者、造形計画系では、造形全般に深い造詣を有する建築意匠設計者やデザイナー、人間科学系・経営システム系では、マネジメントのエキスパートを育成しています。



産業理工学研究科における
SDGs達成に向けた
取組み

Graduate School
of Humanity-Oriented Science
and Engineering

研究科長メッセージ

明日の科学を切り拓く技術者を養成します。
本研究科では、最先端の産業技術に則した実践的な知識、技術を習得し、国際的競争力と学際力を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。これまで日本は世界に誇る先端技術を構築してきましたが、厳しさを増す国際競争の中で、緩みない技術革新が求め

られています。そして世界の人々と協調しながら、独創性豊かな発想力を發揮して、世界をリードする技術者が求められています。明日の科学技術を切り拓く気概に満ちた若者の入学を待望しています。

研究科長 河渕 博文 教授

● 授与する学位

博士前期課程／修士(工学) 博士後期課程／博士(工学)

● 進路イメージ

本研究科の修了生は、教員の研究指導により、高度な専門知識および社会人としての基礎力を修得しています。修了後は、各分野の第一線で活躍し、その実績は高く評価されています。就職に際しても、教員の指導の下、企業の希望する部門への就職が増えています。「専門を極めた者が勝つ」という信念を持って、就職過渡期を乗り切る体制を整えています。

● 各コースの研究領域

生物環境化学コース

- 細胞生物学
- 分子生物学
- 遺伝子工学
- 細胞医療工学
- 生物資源工学
- 微生物工学
- 地球環境工学
- 地球環境保全工学

電子情報工学コース

- 機能性食品工学
- 機能性材料工学
- 遺伝子医薬
- ゲノム創薬
- レーザー分光学
- 医用高分子工学
- 医用高分子工学
- など

社会環境科学コース

- 高電圧パルスパワー工学
- 次世代コンピュータ
- 組込みシステム／ロボティクス
- 知的情報通信
- 地理情報システム
- セキュリティシステム
- 防災セキュリティシステム
- など

在学生からのメッセージ

迅速な
ガス検知をかなえる
新たなセンサ材料の
開発。

産業理工学専攻
博士前期課程 1年
峯 亮一さん



酸化物半導体を用いたガスセンサ研究がテーマです。BaSnO₃を用いた新しいセンサ材料の開発で、部分置換によって起こるガス反応や、ガス反応の選択性について探究しています。先行研究が少なく苦労しますが、新しい発見が検知速度の革新につながると考えています。

訪れた人々が
つながりを感じる、
高架下にふさわしい
空間を提案。

産業理工学専攻
博士前期課程 2年
永友 裕子さん



西日本鉄道の高架下に新たなパブリック空間を提案しています。高架はもともと分断された場所を線路や道路で結ぶもの。その意義にふさわしい、人々がつながりを共有できる都市の居場所としての空間を創出し、地域活性にも一役買えればと考えています。

産業理工学研究科の詳細はWebでご覧ください。

<https://www.kindai.ac.jp/hose/about/graduate/>

*本誌に掲載されている学年表記は、取材時（令和元年度）のものです。

施設紹介

■ アカデミックシアター [東大阪キャンパス]

東大阪キャンパスに新しく誕生した、文理の垣根を越えて社会の諸問題を解決に導くための学術拠点。1号館から5号館の建物には、学生が主体的に学べる施設が充実しています。

・ラーニングコモンズ

[1号館 1F]



座席数は約50席。稼動机に加えて、ファミレスのような固定席もあり、多様なニーズに対応。グループ学習での利用が中心の自習室です。

・CNN Café

[4号館 2F]



日本の大学では初出店となるアメリカのニュース専門放送局「CNN」がプロデュースするカフェ。店内のモニターでは常にCNNのニュースが流れ、学生が気軽に英語に触れられる機会を提供しています。

・オープン・キャリアフィールド

[2号館 2F]



キャリアセンター、リエゾンセンター、校友会（総務部校友課）が同じフロアに配置し、学生だけにとどまらず卒業生、企業人、地域住民などが行う様々な活動を支援します。

・ACT

[5号館 1・2F]



「ACT（アクト）」と呼ばれるガラス張りの部屋が42室。社会の諸問題解決のため、学生や企業、地域が交わり、「近大デザインラボ」「KISS LABO」など、様々なプロジェクトを取り組んでいます。学生主体の議論、企業とのコラボレーションといった実学を体现する空間です。

・24時間自習室

[3号館 1F/2F]



座席数は1Fは約100席、2Fは約150席。新幹線のような座席予約システムを導入し、スマートフォンからいつでも予約できます。1Fの自習室は女性専用です。

・ビブリオシアター(図書スペース)

[5号館]



知の巨匠、編集工学研究所所長の松岡正剛氏監修のもと、独自の図書分類「近大INDEX」によって約7万冊の書籍等を収蔵した新しい図書スペースです。1階は「NOAH33（ノア33）」と名付けて一般図書を中心に約3万冊を配架、2階の「DONDEN（ドンデン）」には、マンガ、新書、文庫を中心に約4万冊を配架しています。

■ 多目的教育棟(仮称) 2020年度竣工予定 [奈良キャンパス]



奈良キャンパスの中心的学術拠点。学内外との接点をもつための共同スペースとして利用できます。

■ 園場 [奈良キャンパス]



広大な敷地を利用した、キャンパス内の園場。本格的なハウス設備や実験園場では、実習や研究が盛んに行われています。

■ 第2共同研究棟 [奈良キャンパス]



実験ゾーン、飼育ゾーンなどの施設を完備。研究・教育の拠点として活用されています。

■ 図書館 [大阪狭山キャンパス]

座席数170席、図書約61,000冊、製本雑誌約76,000冊計137,000冊以上保有。年間約360日開館しており、教員・学生の学習・教育・研究支援の場となっています。非公開であるが、華岡流外科道具展示室もあります。

■ 分子形態共同研究室 [大阪狭山キャンパス]



透過電子顕微鏡、走査電子顕微鏡を備え、臓器の細胞内小器官や表面の細胞立体像をミクロ、ナノレベルで観察・分析可能。

■ 分析機器共同研究室 [大阪狭山キャンパス]



基礎医学、臨床医学共同の研究用機器として、タンパク質や遺伝子解析を行う分析装置が多数設置。細胞工学関連の解析装置も充実。

■ 高圧力蛋白質研究センター [和歌山キャンパス]



圧力を利用して蛋白質の働く仕組みを解明とともに、その応用を開拓するための施設。

■ 図書館 [和歌山キャンパス]



書籍のほかパソコンやオーディオ機器・学習室を設置し学習や資格取得を強力にサポートします。

■ メディアセンター [広島キャンパス]



パソコンルームを備えた情報教育センターと図書館が一体となった教育・研究活動のための施設です。

■ 中央図書館 [東大阪キャンパス]



学生への教育・学習支援、教員への研究支援に積極的に取り組み、知の継承と創造の中核としての役割を担っています。年間約330日開館（自習室は約350日開室）しており、入館者数は年間約180万人に及びます。

■ 英語村E³ (e-cube) [東大阪キャンパス]



「遊びながら英語を楽しく学ぶ」のコンセプトを徹底して実践する「英語の遊び場」。日本の大学で初めてとなるユニークな試みは、「英語嫌いだった」学生たちと英語との距離をぐんぐん縮めています。

■ 情報処理教育棟(KUDOS) [東大阪キャンパス]



最新IT機器を使い、学生たちが自由に学習できる施設。学生は、アカウントが与えられ学内外どちらでも、アクセスしKUDOSの様々なサービスを活用できます。

■ 図書館 [広島キャンパス]



理工学系に比重を置きながらも、周辺分野の図書も幅広く収集しています。

■ キャリア支援室 [福岡キャンパス]



いつでも進路の相談ができるので、就職活動に困ったらここに。

■ 図書館 [福岡キャンパス]



AV資料のブラウジングコーナーや「地域資料室」も設けられた、知の交流拠点。

学位一覧

【研究科・専攻・課程・授与する学位】

研究科	専攻	課程	授与する学位	
			修士	博士
法学研究科	法律学専攻	博士前期課程	修士(法学)	博士(法学)
		博士後期課程		
商学研究科	商学専攻	博士前期課程	修士(商学)	博士(商学)
		博士後期課程		
経済学研究科	経済学専攻	博士前期課程	修士(経済学)	博士(経済学)
		博士後期課程		
総合理工学研究科	理学専攻	博士前期課程	修士(理学)	博士(理学)
		博士後期課程		
	物質系工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
	メカニックス系工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
	エレクトロニクス系工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
	環境系工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
薬学研究科	建築デザイン専攻	修士課程	修士(建築学)	—
	東大阪モノづくり専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
	葉学専攻	博士課程	—	博士(葉学)
総合文化研究科	葉科学専攻	博士前期課程	修士(葉科学)	博士(葉科学)
		博士後期課程		
	日本文学専攻	修士課程	修士(文学)	—
農学研究科	英語英米文学専攻	修士課程	修士(文学)	—
	文化・社会学専攻	修士課程	修士(文化学)	—
		修士課程	修士(社会学)	—
	心理学専攻	修士課程	修士(心理学)	—
医学研究科	農業生産科学専攻	博士前期課程	修士(農学)	博士(農学)
		博士後期課程		
	水産学専攻	博士前期課程	修士(農学)	博士(農学)
		博士後期課程		
	応用生命化学専攻	博士前期課程	修士(農学)	博士(農学)
		博士後期課程		
	環境管理学専攻	博士前期課程	修士(農学)	博士(農学)
		博士後期課程		
生物理工学研究科	バイオサイエンス専攻	博士前期課程	修士(農学)	博士(農学)
		博士後期課程		
医学研究科	医学系専攻	博士課程	—	博士(医学)
生物理工学研究科	生物工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
	生体システム工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
		博士後期課程		
システム工学研究科	システム工学専攻	博士前期課程	修士(工学)	博士(工学)
産業理工学研究科	産業理工学専攻	博士後期課程		

学費

単位:円

博士前期課程／修士課程 研究科	費目			
	入学金	授業料 〔内前納入分〕	学生健保 共済会費	合計
法 学 研 究 科	1年次	200,000 (*100,000)	700,000 [350,000]	6,500 (*806,500)
	2年次	—	750,000 [375,000]	6,500 756,500
総合理工学研究科 業 学 研 究 科	1年次	200,000 (*100,000)	950,000 [475,000]	6,500 1,156,500 (*1,056,500)
	2年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500 1,006,500
農 学 研 究 科	1年次	200,000 (*100,000)	950,000 [475,000]	4,500 1,154,500 (*1,054,500)
	2年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500 1,004,500

博士課程 薬学研究科	費目			
	入学金	授業料 〔内前納入分〕	学生健保 共済会費	合計
1年次	200,000 [500,000]	—	6,500	1,206,500
2年次	—	—	6,500	1,006,500
3年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
4年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500

博士後期課程 研究科	費目			
	入学金	授業料 〔内前納入分〕	学生健保 共済会費	合計
法 学 研 究 科	1年次	200,000 (*不要)	700,000 [350,000]	6,500 906,500 (*706,500)
	2年次	—	750,000 [375,000]	6,500 756,500
総合理工学研究科 業 学 研 究 科	3年次	—	770,000 [385,000]	6,500 776,500
	1年次	200,000 (*不要)	950,000 [475,000]	6,500 1,156,500 (*956,500)
農 学 研 究 科	2年次	—	1,000,000 [500,000]	6,500 1,006,500
	3年次	—	1,030,000 [515,000]	6,500 1,036,500
農 学 研 究 科	1年次	200,000 (*不要)	950,000 [475,000]	4,500 1,154,500 (*954,500)
	2年次	—	1,000,000 [500,000]	4,500 1,004,500
3年次	—	1,030,000 [515,000]	4,500 1,034,500	

備考 1.入学時納入金は、入学金、授業料〔前期分〕、学生健保共済会費の合計額です。2.※印は本学の学部および大学院を卒業見込・修了見込の者が、博士前期課程または修士課程に進学する場合、ならびに本学の大学院博士前期課程または修士課程を修了見込の者が、博士後期課程に進学する場合に適用されます。3.授業料〔後期分〕の納入期は、10月です。4.表示額以外に、校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。なお、既に校友会終身会費を全額納めている者は不要です。5.医学研究科基礎医学系の専攻分野に入学した場合、選考のうえ年額50万円の奨学生給付制度があります。6.経済学研究科の夜間主コースに入学する社会人は、学費減免制度があります。詳細については、経済学部事務部大学院入試係に問い合わせてください。7.総合文化研究科心理学専攻臨床心理学コースでは、実習費として100,000円(年額)が別途必要となります。8.上記は令和2年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

奨学金

勉学意欲が旺盛であり、経済的理由によって修学困難な学生に対して、学資の一部を給付あるいは貸与する奨学金制度があります。
なお、詳細については奨学金担当窓口(東大阪キャンパスは学生部奨学課、その他のキャンパスは各学部の担当窓口)にお問い合わせください。

取扱機関	種別	奨学金・教育ローンの名称	金額	採用(申込)等の対象者	30年度 実績(人)	出願期間	採否 決定	備考
近畿大学	給付	近畿大学給付奨学金	年額300,000円	人物・学業ともに優秀でありながら、経済的に学資の援助を受けることが必要であると認められる人。他の奨学団体で給付を受けていない人。	院28	6月	9月末	毎年申請必要(人物・学力・家計について近畿大学奨学金の基準に照らして行います)
	貸与 (無利子)	近畿大学奨学金	年額600,000円 (法科)年額800,000円	人物・学業ともに優秀でありながら、経済的に学資の援助を受けすることが必要であると認められる人。日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たしている人。	院13	4月	7月	毎年申請必要(人物・学力・家計について近畿大学奨学金の基準に照らして行います)
	貸与 (無利子)	近畿大学応急奨学金	年額600,000円	1年内に家計支障者の失職・破産・倒産・離別・病氣・死亡等により、家計が急変し、学業の継続が困難な者。	0	随時	随時	
	貸与 (無利子)	近畿大学災害特別奨学金	年額600,000円	過去5年内に災害に遭い、「罹災証明書」が発行され、経済的理由により修学が困難な者。	0	随時	随時	
日本学生支援機構	貸与 (無利子)	日本学生支援機構<br						